



JOTA-JOTI 2022 マニュアル

— 参加手続き —

このマニュアルは、2021年の各公式ウェブサイトの登録手続きや画面デザインを元に解説していますので、2022年の公式ウェブサイトの登録方法などが変更されたら差し替える予定です。

暫定版

作成者	ボーイスカウト日本連盟 <jota-joti@scout.or.jp>
作成日	2022年8月28日

目次

JOTA-JOTI とは？	3
・ JOTA と JOTI は世界スカウト機構(WOSM)最大の国際交流イベント.....	3
・ JOTI(Jamboree on the Internet) ジャンボリー・オン・ジ・インターネット	4
・ JOTI の醍醐味	5
・ JOTA-JOTI で挑戦可能な進級課目	7
JOTA-JOTI を安全に楽しむためには	11
JOTA に参加するには	15
・ JOTA に参加するための無線通信技術	15
・ JOTA 運用のコツ	15
・ JOTA プラザ	16
・ JOTA スカウト局がよく使う周波数.....	17
JOTI に参加するには	18
・ JOTI に参加するための設備は.....	18
・ JOTI の始め方	18
・ JOTI に参加するための手続き・手順	20
・ JOTI でビデオチャットを楽しむ方法は	30
・ JOTI 本番前の事前の宣伝活動	31
・ JOTI の機材について	40
・ JOTI 当日の作業.....	45
・ JOTI 参加後の手続き	47

JOTA-JOTI とは？

JOTA と JOTI は世界スカウト機構(WOSM)最大の国際交流イベント

JOTA は Jamboree On The Air の略でアマチュア無線を利用して 1958 年に正式に始まり、JOTI は Jamboree On The Internet の略でインターネットを利用して 1997 年から正式に始まったいずれも世界スカウト機構の公式国際行事です。毎年基本的に 10 月の第 3 週の週末の金曜日から日曜日にかけて JOTA と JOTI が同時に開催されます。

全世界から 200 万人をはるかに超える人数のスカウトが、アマチュア無線通信や公式ウェブサイト、ビデオチャットを通じてお互いに交流する世界スカウト機構（WOSM/World Organization of Scout Movement）最大のイベントです。

4 年おきに開催される世界ジャンボリー（World Scout Jamboree）の参加者数が 3 万人から最大でも 4 万人程度であることを考えると、JOTA-JOTI がどれほど大規模なイベントかお分かりいただけたと思います。



そして国際交流行事であるにも関わらず、自分の国に居ながらにして安全かつ容易に参加できることから、多くの国で年少部門のカブ年代のスカウトやさらに最年少部門のビーバー年代のスカウトたちまでもが指導者や保護者の全面的な支援のもとに他国のスカウトとの交流を楽しんでいます。



金曜日から日曜日までの 3 日間というイベントの期間は、正確には「各国の標準時で金曜日の午前 0 時から日曜日の午後 12 時まで」となっていますが、各国間で時差があるため実際には延べ 4 日間にあたる 96 時間にわたって行われるため、自国の参加設定期間に関わらず多くの世界のスカウトが 4 日間にわたってこのイベントを楽しみます。



国別では一番早く日付が変わるところ、すなわち日付変更線のある太平洋の真ん中に位置しているキリバス（ライン諸島）が一番早く JOTA・JOTI イベントをスタートし、同じく日付変更線の翌日側にあるアメリカ領サモア、ニウエが最後にこのイベントを終わります。

JOTI (Jamboree on the Internet) ジャンボリー・オン・ジ・インターネット

冒頭でご紹介したとおり、Jamboree On The Internet の略で、文字通りインターネットを利用したオンラインのデジタル国際交流です。世界スカウト機構（以下、WOSM）が開設するインターネット上の JOTA-JOTI 公式サイトでさまざまなプログラムに参加できます。

JOTA-JOTI の世界各国の参加者数がここまで急増した大きな要因は、近年の世界各国におけるインターネット関連インフラの急激な発達（国際・国内回線の高速化、後発国での環境整備、パソコンの普及）によって世界各国からの JOTI 参加のハードルがぐっと下がったことと、WOSM の JOTA-JOTI 公式サイトの中に設けられる各種プログラムのページが毎年進化してより充実した魅力的なものになっていることなどが挙げられますが、何より日頃使っているパソコンやスマホ、タブレットとインターネット回線だけで世界中のスカウトと交流できてしまう JOTI の楽しさが強力な後押しとなったことは間違いありません。



JOTI の醍醐味

世界スカウト機構が開設する JOTA-JOTI の公式サイト (<https://www.jotajoti.info>) は、言うなればジャンボリーの場内プログラムのメイン会場です。

このメイン会場については、別冊の「JOTA-JOTI 公式サイト探検マニュアル」で詳しく解説していますのでそちらをご覧ください。英語にある程度自信のあるボーイスカウト以上の年長部門のスカウトにとっては、単独で参加するのも冒険心をくすぐられることでしょう。

また、リアルのジャンボリー会場の見学会をカブ隊以下のスカウトで組むのと同じように、指導者の引率のもと、年少部門のスカウトが公式サイトプログラムに挑戦するのも楽しいでしょう。

そして、もうひとつ何よりも JOTI の面白さとして挙げなければならないのがパソコンで、あるいは慣れてくればスマートフォンやタブレット用の無料ビデオチャットアプリ（テレビ電話機能）を利用した海外のスカウトたちとの交流です。

これはリアルのジャンボリーで開催地の人々と直接交流する場外プログラムに相当すると考えれば分かりやすいと思います。JOTI の開催地は全世界ですので、必然的に全世界のスカウトや指導者と直接交流することになります。この冊子ではこのビデオチャットでの交流を中心に解説していきます。

身振り手振りが通じる

ビデオチャットという名前のとおり、お互いに映像と音声を使って交信するため、WOSM の公用語である英語などの外国語が得意でなくても、身振り手振りや表情が通じるという利点があります。これが多くの国で年少部門のスカウトが参加して楽しめる理由となっています。

自国語しかしゃべらずに、交流できてしまうビーバースカウトたち

典型的な例としては、日本側も海外側もビーバースカウトグループだった場合、当然ながら言葉だけのコミュニケーションはほぼ不可能です。

それでも大抵子供たちは臆することなく最初から最後までお互い自国語で一方通行の会話を押し通します。どちらかにひょうきんな顔をして見せるスカウトがいて笑いが起こると、すかさず相手のスカウトの中にまねをする子が出てきます。

さらに、片方のグループが指導者に促されて自国のスカウトソングを歌えば、間違いなく次は相手側が自国のソングを歌って披露し、その間、聴いている側のビーバーたちはリズムに合わせて体を動かします。複数曲を相互に交換するころには子供たちは画面の両側でノリノリになっています。



また、欧米や東南アジアのスカウトを中心に日本のテレビゲームやアニメに親しんでいるスカウトも多く、世界レベルのキャラクターとも言うべきポケットモンスターのピカチュウの絵などを用意しておいてあげると画面の両側で発音の違う「ピカチュウ！ピカチュウ！」の大合唱になります。

同年代でなくてもコミュニケーションが成立する

海外との交流というと、つい同年代のスカウト同士の交流ばかりを思い浮かべがちですが、実際に海外のスカウトグループとビデオチャットをする際には、つながってみないと相手の年代が分からないことも多々あり、それでも全く問題なく交流できてしまう楽しさがあります。

たとえば、日本側がカブスカウトあるいはビーバースカウトの年少部門のグループで、つながった相手が海外のローバースカウトや成人指導者であった場合、根気よく日本の子供たちの相手を務めてくれる可能性が高く、また日本に関する何等かの知識を持ち合わせている人も多いため、日本に関する話題をやさしい英語で質問してくれたりします。



また、この年代になると日本のアニメや文化が好きで独学あるいは学校や大学で日本語を勉強している海外スカウトや、日本への留学経験、日本で外国語講師として勤務した経験がある成人指導者などもいて、こういった人たちは日本語でも対応してくれます。

参加したスカウトたちに現れる変化

ご承知のとおり小学校でも 2018 年から英語教育が義務化され、2020 年度には 3 年生から外国語活動の実施、5 年生以上で他の教科同様の正課になっていますが、JOTI に参加するまでは英語について「習得することそのものが目的」だったのが、参加すると英語が世界中のスカウトと「交流するための手段」に変わり、一気に学習意欲が高まることがあります。多くのスカウトが翌年の JOTI までにより英語を話せるようになって、自分の言葉で交流したいと思うようです。

毎年継続して参加していると、最近の小中学校の英語教材が会話中心の形でとても工夫されているため、前の年に比べてびっくりするくらい上手に話せるようになるスカウトもいて、それがまた他のスカウトへの刺激になったりもします。

JOTA-JOTI で挑戦可能な進級課目

ビーバースカウト

木の葉章 シャカイ（楽しい活動の種類）

- ・よその国の話を聞く。

世界中では、4000 万人のスカウトが活動しています。JOTA-JOTI 当日、スカウトや指導者とメール・チャットを交換したり、音声通信で声をきいたり、外国連盟のホームページを見たりして、リーダーから外国についての話を聞いてみましょう。



カブスカウト／修得課目

うさぎ 社会生活（13 世界の国々）

- （1）10 か国以上の国名を知る。

JOTA-JOTI の会場や自宅にある世界地図を使って、10 か国以上国名が言えるか挑戦してみましょう。自宅の場合でも、アプリやインターネットを使って世界地図を広げて、好きな国の名前を挙げてみましょう。まずは海外・国際社会を知る機会にすることができると思います。



しか 社会生活（14 世界の国々）

- （1）まわりの人から、世界の国々についての話を聞き、まとめて発表する。

JOTA-JOTI の期間中のやり取りも含めて、外国のスカウトや指導者から届く音声やメール等で聞いたり、外国のホームページを見たりして、世界のスカウト活動の話聞くことも楽しみの一つです。自宅の場合では、図書館などで海外に関する本を借りたり、インターネットを活用したりと、情報を集めてまとめて発表する準備を進めてみましょう。



くま 社会生活（14 世界の国々）

- （1）自分の知っている国の中から、1 つ以上の国を選んで、その国について発表する。

実際に自分の知っている国のスカウトや指導者と話をし、その国について深めることができます。また、本やインターネットからその国の情報をさらに深めてみましょう。くまの年代では、上の年代につながるよう、外国語を話すこと、世界で起きていること、日本が世界の中でどのような取り組みをしているかを知る機会にもつながります。



カブスカウト／選択課目・チャレンジ章

1. 社会生活／1 国際

4) 世界の中で 10 か国を選び、その国の次のことについて調べる。

<世界地図でどこに位置するか、国旗、人口、首都、通貨の単位、スカウト活動をしているか>

JOTA-JOTI での会話のきっかけとして、海外であれば国の位置や国旗を紹介したり、実際の貨幣を見せたりと、話をするきっかけを作ります。国内であれば、意外と自分の住む場所以外の位置は分からないため、日本地図の位置と県庁所在地などのクイズもおもしろそうです。スカウトサインや敬礼をして、挨拶しても良いですね。



3. 社会生活／3 友情

(2) ペンフレンドをつくり、2 回以上文通する。

JOTA-JOTI において、国内や海外のスカウトと交信をする機会が取れば、普段の活動では会えない友達として、手紙や電子メールなどの方法を用いて、文通する機会を持つことも考えられます。直接のやり取りをするにしても、指導者間で調整をしながら、国内外にいるスカウトの仲間を意識するきっかけとして、このプログラムを活用してください。



3. 技術／10 特技博士

(2) コンピュータやワープロを使って、手紙文や作文などを打つことができる。

JOTA-JOTI 当日、会場または自宅においてパソコンを実際に触って、マウス操作や文字の入力などを試してみましょ。今は、タブレットやスマートフォンなども文字入力ができます。JOTA-JOTI に関連する掲示板や友好団との交流として SNS にコメントを書き込んだり、団内のスカウトや親せき・家族とのメールや LINE で連絡したりと、挑戦してみましょ。



3. 技術／10 特技博士

(1) 次のもののうち資格か級を持っていること。

<アマチュア無線、珠算、書道、囲碁、将棋、柔道、剣道、空手、合気道、弓道、少林寺拳法等>
JOTA-JOTI 当日、会場に用意されている無線機を実際に運用してみましょ。アマチュア無線の運用は免許が必要ですが、2020 年からは免許を持っている人が同席しながら、無線の運用を試すことができるようになりました（イベントなどにおける体験臨時局の設置が必要）。



新チャレンジ章 「サイバーセキュリティヒーロー」

(1) 次の用語を調べて、インターネットの便利な点、危ない点を話し合い、より良い使い方を発表する。

＜インターネット、アプリ、セキュリティ、SNS、ダウンロード＞

「サイバーセキュリティヒーロー」は、ワークブックやゲームを通じて楽しみながらインターネットの楽しさだけでなく、危険なことや安全性を学ぶことができます。ボーイスカウト活動のなかで同プログラムに挑戦し、リーダーから「サイバーセキュリティヒーロー」に認められることで、オリジナル特製バッジを身に着けることができます。JOTA-JOTI 当日、このプログラムを活用してください。(<https://www.scout.or.jp/member/cybersecurity>)



ボーイスカウト・ベンチャー／選択課目・技能章

19. 世界友情章

(4) 5 か国以上の外国スカウト章を描くか、または収集して提示すること。
JOTA-JOTI 当日、交信した外国スカウトから、スカウト章を紹介してもらったり、交信した後にその国について調べて、集めてみましょう。

(5) 外国スカウトと外国語で3か月以上、文通し、相互理解と友情の促進に努力し、3回以上便りのやりとりがあること。

このプログラムは、一度交信した相手とその後継続してやり取りをすることができることに一つの面白さがあります。クリスマスやニューイヤーなどに連絡を取ったり、海外で活動する際に協力をお願いしたり、今後の活動につながります。



45. 信号章

(3) 無線装置(簡易無線、アマチュア無線などを含む)、携帯電話(メール交信も含めて)などの機能を説明し、正しい交信方法を実演できること。

JOTA-JOTI 当日、特定小電力トランシーバーを使用して、交信の経験をしたり、合わせて携帯電話の機能の説明とその違いについて学ぶ機会とすることで、修得認定につなげることができます。



59. 無線通信章

(1) アマチュア無線技士の資格があること。

すぐに取得することはできませんが、無線の体験をしたり、無線の仕組みを知る機会を設けたり、興味の範囲を広げることになります。

(2) 和文通話表により、電文を送話できるとともに、欧文通話表を用いてアルファベットを言えること。



携帯電話やオンライン会議システムと違って、無線のやり取りをする際にどうしても聞き取りづらいことがあります。それを補う方法として日本語にもアルファベットにも通話表があります。秘密のサインとして活動に組み込むこともできます。

(3) 国内 10 局以上の交信記録と交信証(QSL カード)5 枚以上を提示すること。注:社団局発行のカードには、従事者名(オペレーター)が明記されていること。

無線局との交信を行った証として取得できる交信証を集めることも一つの楽しみ方です。地区や県連盟で実施会場が準備される場合は、交信証の発行についてもご配慮ください。

83. ネットユーザー章

普段何気なく使っているインターネットサイトや SNS サイトには、「情報漏えい」「成りすまし」「フィッシング詐欺」他、様々な脅威がひそんでいます。手軽に楽しく利用できる反面、自分で判断ができる年齢に達しているスカウトには自分の身を自分で守ることも経験させてあげたいですね。技能章のネットユーザー章を通じて、ネットユーザーとして知っておきたい項目を学ぶことができますので、具体的な取り組みを通じてスカウトたちにその機会を提供してください。団の中にもローバースカウトや保護者で専門的な方がいれば、一緒に取り組めばより良いですね。



※次項目「JOTA-JOTI を安全に楽しむためには」にも関連したヒントがあります。

- (1) スマートフォンでインターネットが利用できる仕組みを調べる。
- (3) 検索エンジンを使用して、出題されたテーマの情報を実際に検索する。
- (5) 各種 SNS について、以下を説明できること。
- (6) SNS や Web サイトの閲覧、電子メール、公衆 Wi-Fi の利用における以下のセキュリティリスクと被害者および加害者にならないための防止策、発生した場合の対応について説明できること。
- (7) インターネット利用における著作権違反で告発されるリスクをあげ、以下について具体的な防止策を説明できること。
- (8) スカウト活動に役立つインターネットの利用として、指導者の許可を得て以下のいずれかを実際に行う。

カブ (くま)・ボーイ・ベンチャー・ローバースカウト/外国語会話バッジ

英語、フランス語、韓国語など現在 11 種類 (2018 年 4 月 1 日現在)

(ア) 申請する言語を使用して 5 分間程度会話する。会話相手は自分で選ぶことができる。

JOTA-JOTI では、日本国内の交信を除くと、共通言語として英語を使用することが多いです。その他、交信する国や地域によりその他の言語が多く話されている国も多く、交信先としてやり取りをするで、修得認定につなげることができます。海外での活動に向けた意識づけとして外国語会話バッジの取得を目指すケースも多くあります。 (<https://www.scout.or.jp/member/kaiwabadge>)



ベンチャー・ローバースカウト／スカウトプロジェクト

進級の取り組みの他、活動を計画する時に個人またはチームを組んでプロジェクトとして取り組むことが多くあります。ベンチャースカウトであれば、隼スカウト章、富士スカウト章の進級課目の6、成長と貢献における取組として、無線、ICT、国際活動といったことに関心があれば、JOTA-JOTIを個人やチームで行うプロジェクトに結び付けることは可能です。

<ステップ>

今なら、オンラインを活用したコミュニケーションがとりやすい時代であるため、同じ地区や県連盟でなくても、同じ興味関心を持つスカウトと活動することは可能です。JOTA-JOTIをきっかけに知り合ったスカウト仲間と一緒にプロジェクトに挑戦することも可能です。

全てのスカウト・指導者／持続可能な開発目標：SDGsの取り組み

2030年までに世界中で解決を目指す世界共通の目標として、17個の目標が設定されています。プログラム全体として、またテーマに応じて目標も変わりますので、皆さんの関心に当てはまる目標で考えましょう。

04. 質の高い教育をみんなに 09. 産業と技術確認の基盤をつくろう

10. 人や国の不平等をなくそう 16. 平和と公正をすべての人に



<ステップ>

ボーイスカウトでは、世界中の仲間と共にSDGsに取り組んでいます。日本連盟では、これらの目標達成に向けて、これまで取り組んできたプログラムの見直しとともに、新たな取り組みの準備を進めています。スカウトは、日々の活動を通じて自然に国際目標に取り組むことで、自分ごととしてSDGsについて考えることにつながります。共通のキーワード～**Scouts for SDGs**のもと、普段の生活やスカウト活動の中で開発目標を意識した活動に取り組んでみましょう。



(<https://www.scout.or.jp/member/scouts4sdgs>)

JOTA-JOTIを安全に楽しむためには

JOTA-JOTIは、コロナ禍のような特別な時期に、世界中のスカウトや他の人たちとつながる素晴らしい機会となります。これらの活動に参加する間、すべての参加者が安全を確保することは非常に重要です。そのため、「セーフ・フロム・ハーム」は世界のスカウティングにおける優先プログラムであり、すべてのスカウトが安心できるようにするためにすべきこととその方法が定められています。私たちはみな、誰もが楽しみ、尊重される安全な環境を作ることに責任を負っています。

ネット上の危険

インターネットには、あらゆる機会と豊富なコンテンツがある一方、個人情報、健康、安全への脅威など、多くのリスクも伴います。また、悪意を持った人もいることも認識し、どのように対応すべきかを知る必要があります。JOTA-JOTIに参加する皆さんは、準備を万全にするため、オンラインにおける安全配慮について、この機会に知っておいてください。

SNS ガイドライン

- ・ インターネットへの情報発信は、あらゆる背景や事情を持つ不特定多数の利用者がアクセス可能であることを理解します。
- ・ インターネット上に一度公開した情報は完全に削除できないことを理解します。
- ・ 本人の意思に関係なく他のユーザーによって発言が一部転用され、改ざんが行われる可能性があることを理解します。
- ・ ストーカー被害、トラブルに巻き込まれないため、自身の個人情報の開示にも十分注意します。匿名で利用していても、アカウント名や投稿内容、写真から氏名、住所、勤務先までを推測され、個人名が特定される可能性があるため警戒します。
- ・ 位置情報機能（GPS）を使った発信は自分の居場所を特定できるため、利用する際は特に注意します。

ネット上の利用注意点

- ・ 守秘義務や各種法律を遵守し、インターネット上でも良識ある個人であることを常に意識します。
- ・ 一人ひとりの情報発信が全体に影響を持つことを十分に認識し、自分の発言には責任を持ちます。
- ・ 常に相手への敬意・配慮を忘れません。
- ・ 他人のプライバシーを尊重します。
- ・ ID とパスワードの管理を徹底します。
- ・ 住所、氏名などの個人情報を入力する時は、十分注意します。
- ・ 個人のミスを大げさに指摘しません。
- ・ 面と向かって言えないことは書きません。

対象年齢と大人の監督

個人での参加者はボーイスカウト以上が望ましいですが、カブスカウト、ビーバースカウトは指導者・保護者と共に事前の準備から参加してみましょう。すべての人の安全を確保するために、参加する皆さんは、これらの内容を確認して、JOTA-JOTIに参加しましょう。

支援する指導者・保護者の皆さんは、参加するスカウト達のオンライン活動を監督する責任があります。WOSM の公式 JOTA-JOTI サイトには、スカウト達に代わって登録することができます。事前準備も含めスカウトと一緒に JOTA-JOTI に参加してください。

ルールに違反した場合は

参加者は、「5. 安全な JOTA-JOTI 参加へのちかい」のルールを守って参加してください。違反した場合や違反アカウントに対して、アカウントの一時停止や削除、セーフ・フロム・ハーム・チームからの調査連絡があるなど、さまざまな措置が取られることがあります。

安全な JOTA-JOTI 参加へのちかい

私は以下のことを守って、JOTA-JOTI に参加します。

- ・ JOTA-JOTI のことを指導者・保護者に伝えて参加します。
- ・ ちかいとおきてを守り、スカウトらしく行動します。
- ・ ハームかもしれない行為をされた時や、行為に気が付いた時はすぐに報告します。
- ・ オンラインで会った人には敬意をもって親しく接します。
- ・ ウェブサイトは誰でも見られることを意識した内容を選びます。
- ・ パスワードや個人情報は秘密にして、誰にも公開しません。
- ・ 憎しみ、屈辱、偏見など誰かを傷つけるような発言・書込、盛り上げたりしません。
- ・ 新しいスカウト仲間と出会い、JOTA-JOTI を楽しみます！
- ・ JOTA-JOTI に奉仕する指導者・奉仕者は WOSM・日本連盟の行動規範を遵守します。
- ・ スカウト活動中には飲酒をしませんし、スカウトの前での喫煙もしません。
- ・ 上記に反することをを見て見ぬ振りをしません。

プログラム参加中に困ったときは

- ・ まず、指導者・保護者など、信頼できる大人に困りごとを伝えてください。
- ・ 名前、困り事が発生したサイト、状況、何が起きたか、相手のアカウント名を記録して、困り事の分かる画像等を添付して、jota-joti@scout.or.jp に送信してください。
- ・ 上記メールの他、Facebook ページでのメッセージャーからも質問を受け付けます。回答は、JOTA-JOTI 開催タスクチームのメンバーにおいて行います。

セーフ・フロム・ハーム・ガイドライン

セーフ・フロム・ハーム世界方針の目的は、メンバー全員を危害から守ることです。虐待、ハラスメント、いじめは絶対に許されません。そのため、世界、地域、国を問わず、すべてのスカウト行事で「セーフ・フロム・ハーム」に従うことが義務付けられています。WOSM のスタッフとボランティアは全員、「セーフ・フロム・ハーム」の履修が義務付けられています。JOTA-JOTI の期間中、オンライン上の青少年を保護し、成人指導者、保護者、ボランティアに WOSM の安全面からの支援に関する貴重な情報を提供することが目的です。

WOSM および日本連盟は、JOTA-JOTI の参加者が世界各地でネットワークを築き、新しい仲間を作っていく中で、参加者一人ひとりにとってこのプログラムが可能な限り安全なものであることを確認する責任を負っています。

- ※ **セーフ・フロム・ハーム世界方針**は、WOSM のメンバーがスカウトに対してどのように振る舞うべきかを概説した WOSM 行動規範とともに実施されています。
 - ・ このルールは、WOSM または JOTA-JOTI のパートナーが提供するオンライン・プラットフォームを利用しているすべての参加者に適用されます。
 - ・ プログラム参加中に困ったときは、前述のとおり、信頼できる大人に連絡するか、jota-joti@scout.or.jp までメールを送信してください。
- ※ **世界スカウト機構 (WOSM)** には、モデレーターの専門チームがあり、JOTA-JOTI のプラットフォームを監視して、すべてのユーザーがオンライン上で安全な状態 (セーフ・フロム・ハーム) であることを確認しています。モデレーターはセーフ・フロム・ハーム・チームと協力して、ハームがあった場合には追跡調査を行っています。
- ※ **ボーイスカウト日本連盟**においても、セーフ・フロム・ハームの基本的な考え方や対処方法、事例等をまとめた「ガイドブック」を作成しました。また、ローバースカウトと指導者についても、加盟登録前研修として E ラーニングの受講が必須となっています。

コロナ感染防止ガイドライン

COVID-19 を考えると JOTA-JOTI 2022 への参加は以前とはかなり異なってきました。安全を維持することはこれまで以上に重要であり、若者を危害から守ることは常に世界スカウトの優先事項です。私たちは共に誰もが楽しく安全な環境を作る責任がありますので、以下のガイドラインを守って参加してください。

- ・ テーブル、椅子、キーボード等を消毒します。
- ・ 3密 (密閉、密集、密接) を避けるため、できる限りにプロジェクター・スクリーン・スピーカー等を使用します。
- ・ マスクを着用し、適度な距離を取ります。
- ・ 事前の検温を行い、発熱がある時、または体調の悪い人は活動をしません。
- ・ 以上に該当するスカウト・指導者は活動を控えます。
 - + 37.5℃以上の発熱のある人。
 - + 咳・咽頭痛等の症状が認められる人。
 - + 感染の疑いへの不安がある人。
- ・ スカウト・指導者の手洗い、消毒、マスク等による咳エチケットを徹底するとともに休憩や食事の分散を図ります。
- ・ 厚生労働省の示す方法に従い、定期的換気を行います。
- ・ 大声での会話等、感染リスクの高い行為を行いません。
- ・ 活動の前後や休憩時間での交流等を控えます。

JOTAに参加するには

JOTAに参加するための無線通信技術

アマチュア無線の運用には無線従事者免許証が必要ですが、免許さえあれば楽しめるというわけではありません。まずは機械をさわって、無線局を見つけ、周波数の合わせ方を覚えるところから始めます。何回も無線局の交信を聞いて、その方法に慣れる必要があります。欧文通話表でコールサインや名前をやり取りできることはもちろんのこと、正式でない通話表が使われても理解できるよう準備しましょう。和文通話表を使って名前や場所を紹介できるよう準備しましょう。QTH（運用場所）、QRM（混信）、JCC（市番号）など、よく使う用語も分かるようにしておきましょう。

免許を取ったけれど運用する無線局が無い場合は、隊長に相談してみましょう。もしかしたら、技能章審査員などアマチュア無線を体験させてくれる人を紹介してもらえるかもしれません。

JOTA 運用のコツ

経験者向け

スカウト局の運用は世界スカウト周波数の上下 10kHz が中心ですが、その他の周波数でも交信が行われます。独自の JOTA 周波数を定めている国もあります。スカウト行事としてスカウトに交信させることを中心とする国がある一方、スカウト活動についてあまり知らないアマチュア無線家がスカウト局の運用を続ける国もあります。一般局に紛れて、電波の弱いスカウト局が呼ぶことがあります。CQ を出して重ねて呼ばれるようになった場合は、これらのスカウト局を取りこぼさないよう、配慮しましょう。

初心者向け：交信手順

1. 呼び出す際は、相手局のコールサインを確実に確認した上で電波を出しましょう。
2. 自局のコールサインを相手局が正しく受信できたことを確認しましょう。不安な場合は確認を依頼しましょう。コールサインの確認ができるまで、他の情報を送ってはいけません。
3. RS レポート形式で受信状況を相手に伝えましょう。相手からも受信状況の報告を受けましょう。
4. 上の 2 つができてから、名前を紹介しましょう。大切な言葉は 2 回ずつ言いましょう。
5. 言うことが思いつかない場合には、「どうぞ」と言って、マイクを相手に渡しましょう。

初心者向け：よくある失敗を防ぐために

- ・はっきり分からない時は「了解」と言わないようにしましょう。
- ・話す内容を 1 つか 2 つにして、早めに相手にマイクを渡しましょう。
- ・考え込んで無音になるとマイクが返ったと誤解され、相手が話し始めます。2 人が同時に送信すると、2 人とも受信ができません。話す内容に困ったら、ためらわずに「どうぞ」と言って、相手にマイクを渡しましょう。
- ・RS レポートや名前など確実に伝えたい内容は、雑音が入った場合でもしっかり伝わるよう、2 回ず

つ言いましょう。「中学校 2 年生、中学 2 年です」のように、2 回をちがう言い方にすると、さらに効果的です。

- ・コールサインを言うときは、いつも通話表を使いましょう。通話表を使わないコールサインは、あまり役立たない情報です。言わないほうが時間を節約できます。
- ・コールサインを毎回、毎回、言わなくて構いません。コールサインは交信の最初と最後だけ言えば十分なこともあります。

社団局の指導者向け

初心者や体験者には、会話内容に重点を置いて経験させましょう。コールサインや RS レポートを言う技術は、あとから簡単に身に付きます。できない場合は他の運用者が言えばいいでしょう。

JOTA 当日は、いろいろと予想外のことが発生します。通話表の練習など、必ず必要となることは、前もって準備させておきましょう。2021 年 3 月の法改正により、小中学生は保護者や学校教職員の個人局、および学校社団局を体験運用できるようになりました。

社団局の指導者向け：交信手順を書いた紙

慣れないスカウトには、話すためのメモがあるとスムーズに進められます。例えば次のような文を印刷し、スカウトが自分の名前を書き込んでおくと良いでしょう。

- ・こんにちは。RS ファイブ・ナイン、59（ごおきゅう）です。どうぞ。
- ・初めまして。名前は山田です。大和のヤ、マッチのマ、たばこのタに濁点、ヤマダです。よろしくお願ひします。どうぞ。
- ・場所は東京都杉並区、東京都杉並区です。どうぞ。
- ・ぼくはカブスカウトです。カブスカウトです。小学 4 年生、小学校 4 年です。どうぞ。
- ・今年の夏にアマチュア無線の免許を取りました。夏に免許を取ったばかりです。どうぞ。
- ・アマチュア無線をするのは、3 回目です。まだ 3 回目なので緊張しています。どうぞ。
- ・ボーイスカウトの社団局です。ボーイスカウト仙台第 1 団、ボーイスカウト、仙台、第、1 団です。どうぞ。
- ・QSL カードを連盟経由でお送りします。どうぞ。
- ・ありがとうございました。また交信をお願いします。ジュリエット・アルファー・シックス…こちらは ジュリエット・エコー …。

JOTA プラザ

・2020 年 4 月の法改正により、免許を持たない人がアマチュア無線の運用を体験できる制度ができました。東京のスカウト会館では、この目的で特別な無線局 8J1JOTA の免許を受け、関東の 12 個団のスカウトが訪問、体験運用をしました。2022 年の JOTA には東京(2 か所)、愛知、大阪、鳥取に JOTA プラザを設置し、訪問スカウトの予約を受け付ける予定です。

<https://www.scout.or.jp/member/jota-joti-2022>

JOTA スカウト局がよく使う周波数

世界スカウト周波数

周波数帯	電話 (SSB)	電信 (CW)
3.5MHz 帯	3.690MHz*	3.570MHz
	3.940MHz*	
7MHz 帯	7.090MHz	7.030MHz
	7.190MHz	
14MHz 帯	14.290MHz	14.060MHz
18MHz 帯	18.140MHz	18.080MHz
21MHz 帯	21.360MHz	21.140MHz
24MHz 帯	24.960MHz	24.910MHz
28MHz 帯	28.390MHz	28.180MHz
50MHz 帯	50.160MHz	50.160MHz

※ 3.5MHz 帯 SSB のスカウト周波数は日本では免許されません。

このほか日本でよく使われる SSB の周波数として、3.545MHz、50.250MHz、144.250MHz、144.340MHz があります。

JOTIに参加するには

JOTIに参加するための設備は

最小限の機材ということであれば、Webカメラ・マイクとパソコン、それにインターネットに接続できる環境があれば、この一大イベントに参加が可能です。

最近のコロナ禍の影響で、すっかりテレワークにはお馴染みですが、多くの方がご自宅などでテレワークに使われているノートパソコンには最近の機種であればほとんど Webカメラとマイク、それにスピーカーを内蔵していると思います。また、ご自宅等もインターネットにつながる環境にあると思いますので、すでにある機材と環境を活用して参加の準備ができます。

もちろん、団、隊などのある程度の人数のグループで参加する場合には、さらに便利な機材や留意事項がありますが、それについては後述します。



JOTIの始め方

最初は団単位で参加するのがおすすめ

現在、WOSMではコロナ下でのJOTA-JOTIについて、Stay Homeの観点から個人での参加を積極的に受け入れています。元々はグループでの参加を基本としていました。

今回、初めてJOTA-JOTIに参加する場合には、最初は「団レベル」での参加がおすすめです。理由は支援する側の成人（指導者や保護者）の人数が多いほうが、その中にパソコンスキルのある方や語学スキルのある方を見つけやすく、複数台のパソコンや関連機材の確保という観点からも成人の数＝分母が多いほうが人材の発掘や機材の調達が容易だからです。

また、コロナ下での運営にあたって、一定のソーシャルディスタンスなどの確保についても成人の人数が多いほうが子供たちの行動に目を行き届かせやすいという利点があります。

これを機会に、従来活動にあまり参加いただけていない保護者に「パソコンに詳しい方、英語がちょっとでも話せる方、助けてください。」と活動への参画を促すきっかけにもなります。

3 時間から 4 時間の行事として組んでみましょう

では、活動計画を組むにあたってどれくらいの活動時間を想定したら良いかということですが、JOTI はゆったりと楽しむのがコツです。2 時間以下の短い時間で参加しようとする、その間に満足いく数の交信先とつなげず、待っている時間のほうが長かったといった結果やマイナスの印象になってしまうことがあります。

つながるまでの待ち時間には、国際関連のターゲットバッジや技能章の取得につながるような知識を皆で学習するなど、ゆったりとした国際イベントとして楽しむ心構えが大事です。

交信先の海外のカブスカウトなどの年少部門のスカウトたちがキャンプあるいは舎営をしながら参加しているのをよく目にしますが、現地時間で夜の遅い時間帯に時差の大きな国との交信を試みるという目的とともに、「1 時間に 1 つくらいつながればラッキー！」というおおらかな気持ちで楽しめるようにという配慮も大きいように思います。

日本と近い標準時を使っている東アジア、東南アジアやオーストラリア、ニュージーランドなどのオセアニアとの交信を期待するならば、お昼を挟んで 10 時から 14 時、ヨーロッパのスカウトとの交流を希望するなら夕食を挟みつつ 16 時から 20 時など、いずれも交信先とつながったら食べている途中でも一旦置いて会話に移れる「おむすび」や「サンドイッチ」といった種類のお弁当などを用意して、全体的にゆったりと時間をとりましょう。

昼間の時間設定であれば通常活動日の日曜日に、また、夕方から晩にかけての時間設定をするのであれば土曜日に開催するのもひとつの方法です。

ただ、海外のスカウトは先に説明したとおり、年少部門のスカウトたちがキャンプをしながら参加していたり、オーバーナイトアクティビティとしてベンチャー年代以上のスカウトが徹夜で参加したりしていますので、「えっ、そっちは真夜中でしょ？」という想定外の国とも交信できたりするのが世界同時開催のイベントの面白さでもあります。

毎年継続して参加していると、昨年交信したところと再会できたり、さらに新しい交信先が増えたりして、年を追うごとにより多くの国、拠点と交信できるようになっていき、待ち時間がどんどん減っていくことにもつながります。

JOTIに参加するための手続き・手順

手続きといっても特に審査があるわけではありません。全てはパソコンでの登録作業を中心に以下の「①から最終段階まで順番に」準備を進めます。使用するパソコンの台数分、個別に作ります。

世界スカウト機構（WOSM）や JOTA-JOTI 公式サイトへの登録は英語での入力になりますが、画面指示に従って入力していけば難しいものではありません。先に 29 ページを一度見て下さい。

① から⑦までの作成や登録作業は JOTI の本番 1 か月前の 9 月上旬くらいまでに終えて、その後は本番に向けて「最終段階」の海外への宣伝活動に時間を割きましょう。

- ① Google でのアカウント作成（②以降の各種登録に使うメールアドレスを新たに作ります。）
- ② Skype アカウントの作成（ビデオチャットに使います。Skype は JOTI の認定アプリです。）
- ③ WOSM への登録（日本でも毎年スカウトとして加盟登録しますね。）
- ④ JOTA-JOTI 公式サイトへの登録（ジャンボリーへの参加申し込みにあたります。）
- ⑤ JOTA-JOTI 公式サイトのマイページを確認（参加の受理と JID 発行の確認です。）
- ⑥ 日本連盟の JOTI 参加ページに登録（最新情報を日本語で受け取れるようになります。）

最終段階：交信相手を探す（世界のスカウト仲間に自分のグループが参加することを宣伝します。

この宣伝活動は、本番の成否を左右するほど大切ですので最も力を注ぎましょう。）

それでは、順番に説明していきます。

① Google でのアカウント作成

Google で無料のアカウント（メールアドレス）を新規作成します。

JOTI に参加する際には、普段自分が使っている Google アカウントがあっても新たに作成するようにしましょう。JOTI への参加した後で、そのアドレスあてのスパムメールなどが集中して配信されるなどのセキュリティ上の問題が発生したときには、その年で使い捨てにします。JOTI にパソコンを複数台用意して参加するなら、Google のアカウントもパソコンの台数分だけ作成しておきましょう。

「電話番号入力欄（省略可）」と「再設定用のメールアドレス欄（省略可）」が出てきますが、空欄のまま構いません。ただし、それまでに設定した内容をパスワードを含めて正確に書き出して控えを作っておくことが大切です。空欄のままではエラーになる場合には、同じ携帯番号で作成できる Google アカウントは 2 つ程度のため、運営にあたる成人指導者や保護者で手分けして作成します。

「パスワード」は英数半角文字で「10～16 桁くらい、アルファベットの大文字と小文字を必ず混在」にします。

また、アカウント名は「1stTokyoScoutGroupJapan01」「1stTokyoScoutGroupJapan02」などのように見るからに日本のスカウトであることが分かり、かつ複数作成する場合には連番になるように作成しておくこと後々便利です。

<https://www.google.com/gmail/about/>

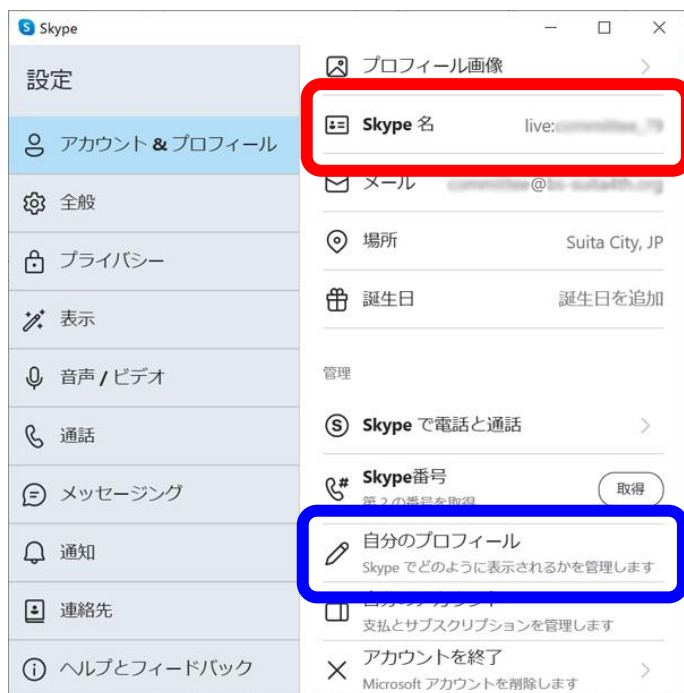
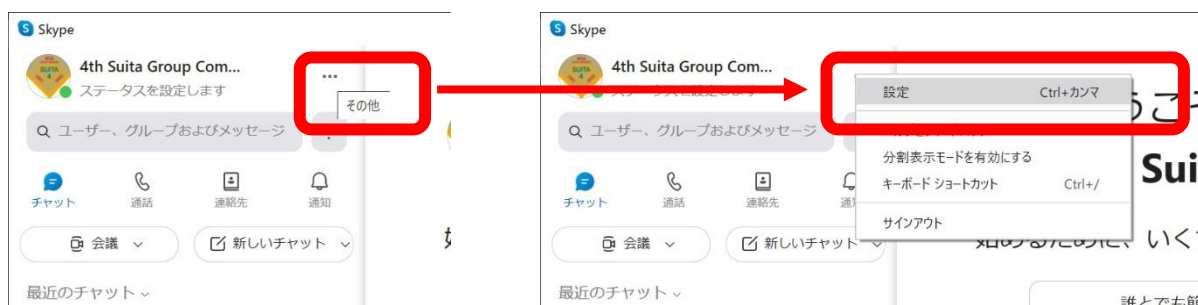
② Skype アカウントの作成

Skype（無料のテレビ会議システム）のサイトからアプリをダウンロードし、こちらも最初に作成した Google のアカウントの数だけ別々に Skype のアカウントを作成し、要求される連絡先アドレスは先に作っておいた Google アドレスで個別に設定するようにします。Google アカウントと同じく手分けして作成します。<https://www.skype.com/ja/get-skype/>

Skype の「アカウントの作成」では、電話番号ではなく「または、既にお持ちのメール アドレスを使う」から入り、先の Google アカウント作成で入手したメールアドレスを使って作成します。

Skype のテレビ会議機能そのものは、アプリをインストールしなくてもブラウザの中で使えるものですが、事前に海外のスカウトに自分の Skype 名(live:○○←先頭の live:も含めて Skype 名です)を宣伝しておいて交信先を効率よく切り替えたりするためには、必ずアプリをインストールして、使用するパソコンの数だけアカウントを取得しておきましょう。管理しやすいよう「姓名」や「パスワード」は Google と共通にしましょう。

Skype 名(live:○○)は、Skype のアカウントを作成すると自動的に割り当てられますが、確認は Skype の画面左上から操作を始めます。「その他」→「設定」と開いていきます。



「設定」画面が開き、Skype 名が確認できます。繰り返しになりますが、**先頭文字列「live:」も含めて Skype 名**ですので、対外的に宣伝するときは注意しましょう！

この「設定」画面の「アカウント&プロフィール」→「自分のプロフィール」→（Web ブラウザが自動的に開く）→「見つけやすさ」で、「検索結果と推奨事項に表示する」に**必ずチェック**を付けて下さい。このチェックが付いていないと、他の人たちがせっかく当該 Skype 名を検索してくれて

も見つからないことがあります。Web ブラウザのその画面を閉じる前に必ず画面上の「保存」ボタン（画面をスクロールした一番上にあります）を押して下さい。

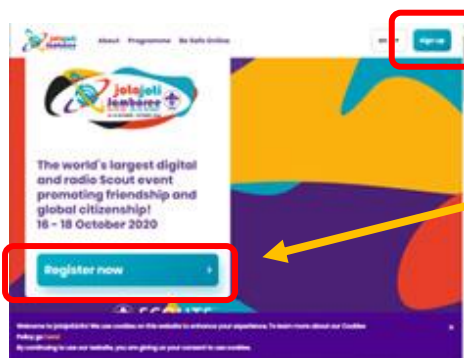


③ WOSM への登録

世界スカウト機構（World Organization of Scout Movement）にメンバー登録します（アカウントの取得）。WOSM が運営する JOTA-JOTI 公式サイトへのログインなどに必ず必要になります。

WOSM アカウントを作成する

JOTA-JOTI 公式サイト経由で、WOSM アカウントを作成します。URL : jotajoti.info



<JOTA-JOTI 公式サイト>

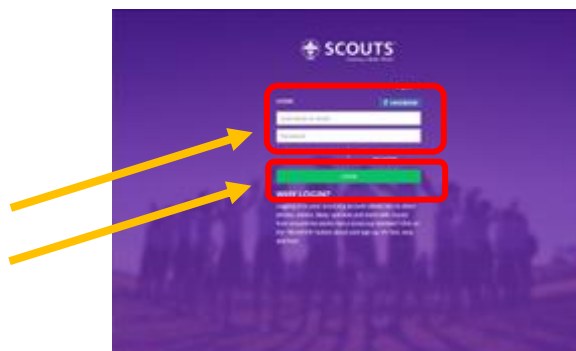
- ① 言語を選択します「en（英語）」
- ② 新規登録「Register now」を押す

↓（WOSM 登録画面へ移動します）

<WOSM 登録ページ>

- ① WOSM アカウントがあれば、ログイン
- ② 未登録の場合は、「REGISTER」を押す

すべて「英数半角文字」で記入してください



※ 漢字でも登録できますが、海外では検索してもらえません。

- Username 団または隊、グループの名前（同様の名称で複数登録するなら末尾に枝番をつけておくと管理するのに便利です）
- Password パスワード（Google、Skype と共通に）
- Confirm パスワード再入力
- Email 連絡用メールアドレス
- First name 名前（Google、Skype と共通に）
- Last name 苗字（Google、Skype と共通に）
- Select country 国を選ぶ（JAPAN があります）
- I'm scout : スカウトは四角にチェック
- Select language : English を選択
- Spoken languages : Japanese を選択
- Scouting interests : 自由に選択
- Date of birth : 生年月日（年/月/日）

- I'm not a robot : 赤枠をクリック
- I have read and accept the~~
左横の小さい白い枠をクリック
- 全て入力したら、REGISTER を押す

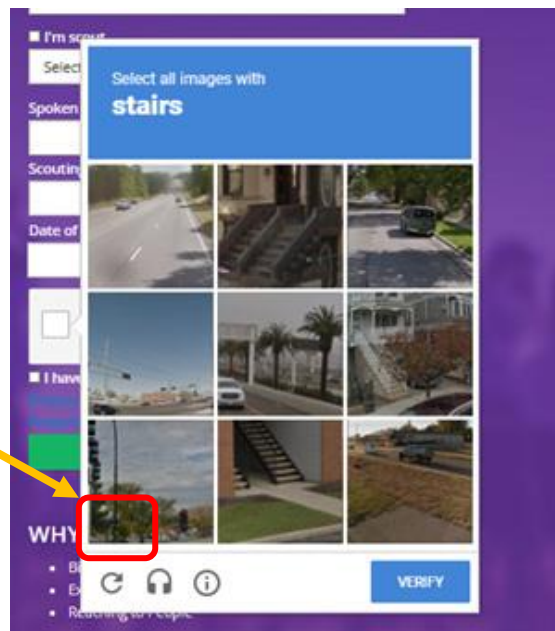
(「REGISTER」をクリックすると写真が表示されます)

Select all images with XXX

XXX の写っている写真を「全て」選んでクリックしてください。
今回は、Stairs（階段）が写っている写真を全部選びますが、
選ぶものは「traffic lights」（信号）、「taxi」(タクシー)など
変わります。

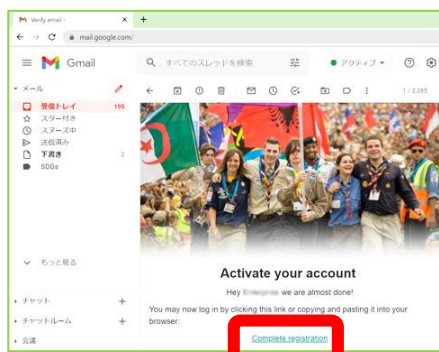
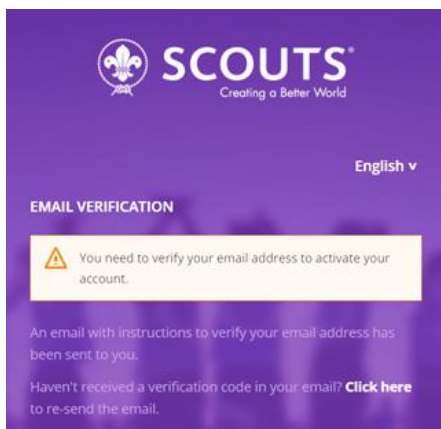
わからなかったら左下の回転矢印マークを押して、
問題を変更してください。すべて選んだら、
右下の青いボタン「VERIFY」を押してください。
登録したアドレスにメールが届いたら、登録成功です！

なお、このロボットでないことを証明するための作業画面なしに、
すぐにメールを確認するように表示が出ることもあります。



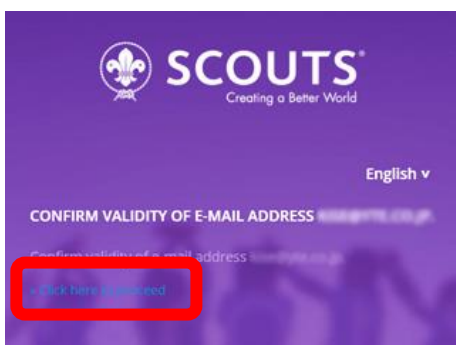
“You need to verify your email address to activate your account.” という表示です。

「あなたのメールアドレスが有効であることを実証する必要があります。」という
意味で、登録したメールアドレスあてに次の手続き指示が届きます。



この場合、届いたメールから引き続き④の JOTA-JOTI 公式サイトへの登
録作業をします。（「メールが届いてから 1 日以内」という制限があります。）

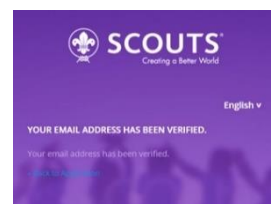
届いたメール本文の中に “Activate your account” という表題
と “Complete registration” というリンクが表示されますので、そのリンク
をクリックし作業を進めます。



←CONFIRM VALIDITY OF E-MAIL ADDRESS の画面で“Click here to proceed”の表示をクリックします。これで登録したメールアドレス
が有効なものであることを証明できます。

画面が変わって、YOUR EMAIL ADDRESS HAS BEEN VERIFIED と表示されます。→

ここでの作業終わりです。続いて JOTA – JOTII 公式サイトに戻り、参加登録をします。



④ JOTA-JOTI 公式サイトへの登録

世界スカウト機構の JOTA-JOTI 公式サイトで参加登録をします。

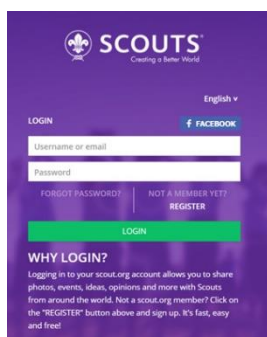
「Register now」からスタートして、こちらも最初に作成した Google のアカウントの数（＝使用するパソコンの数）だけ別々に登録します。

JOTA-JOTI 公式サイトのアカウントを作成する

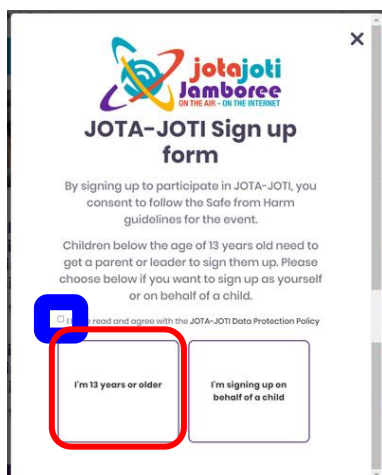


<JOTA-JOTI 公式サイト> URL : jotajoti.info

- ① 新規登録「Register now」を押す

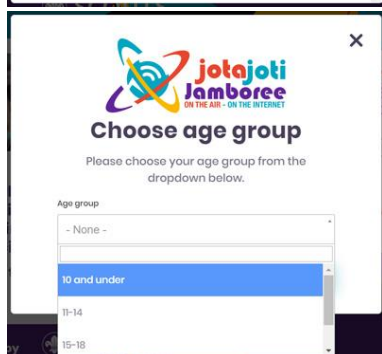


- ② ポップアップで出てきた上の白い四角に、WOSM に登録したメールアドレスを、下の白い四角に登録したパスワードを入力する。
- ③ 緑のボタン「**LOGIN**」を押す。



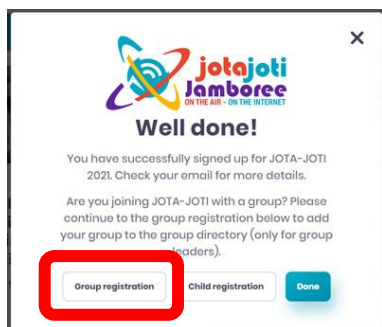
<登録者作業をしている人の年齢や状況を選択>

- ① 「I have read and agree with the JOTA-JOTI Data Protection Policy」にチェックを付けて、左側の「**I'm 13 years or older**」のほうのボタンを押す。
- ② 個人参加の年少者の代理で登録作業をする場合は、本来右側のボタンだが、今回はすべて左側のボタンから作業を進める。必要なら後で変更可能。



<参加者の主な年齢層を選択します>

- ① **Age group** の下の選択肢はプルダウンメニューになっています。選び終わったら **Continue** を押す。
- ② 選択肢は「10才以下、11-14才、15-18才、19才以上」となっているが、あまり厳密に考える必要はない。



<続いてグループの詳細を登録します>

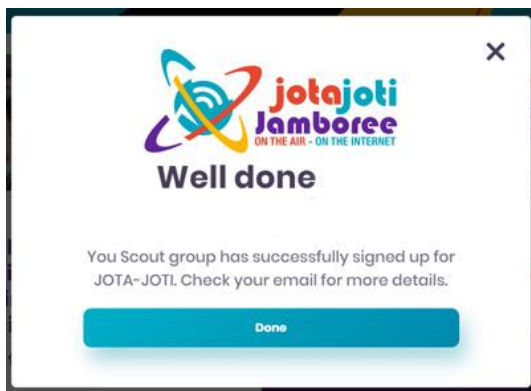
- ① **Well done!**と登録が成功したことを知らせてくれるが、そのまま **Group registration** に進む。**Done** を押すと終わってしまうので、注意! (間違って押してしまっても、後ほど My Account から修正はできる→26 頁参照)

<グループ詳細の登録> 上から順に

- ① **JOTA-JOTI Group/Station Name:**
グループ名 (団または隊名、海外の人が見てもわかる工夫を) を英数半角文字で入れる。
- ② **Number of group members:**
グループの人数を入れる。規模を伝えるためです。個人参加する場合も 2 人にしておく。
- ③ **Country:** 国 JAPAN をプルダウンで選択する。
- ④ **Location:** 自分の住んでいる町の名前や郵便番号を記入する。
- ⑤ **Organisation:** "Scout Association of Japan" をプルダウンから選ぶ。
- ⑥ 青いボタン「**Continue**」を押す。

<参加方法・連絡先などの登録>

- ① JOTI への参加方法や、自分のグループへの連絡手段として使ってもらえる方法をクリックすると各々のアカウントを入れるスペースが表示される。
- ② **Skype** の場合は、付与された **Skype 名(live:○○、先頭の live:の文字も含めて)** 入力する。
- ③ **Email** も登録しておくと、予め交信希望の連絡をもらえるかも。(最初に **Google** で作成したメールアドレス)
- ④ その他のアカウントもあれば記入して青いボタン「**Continue**」を押す。

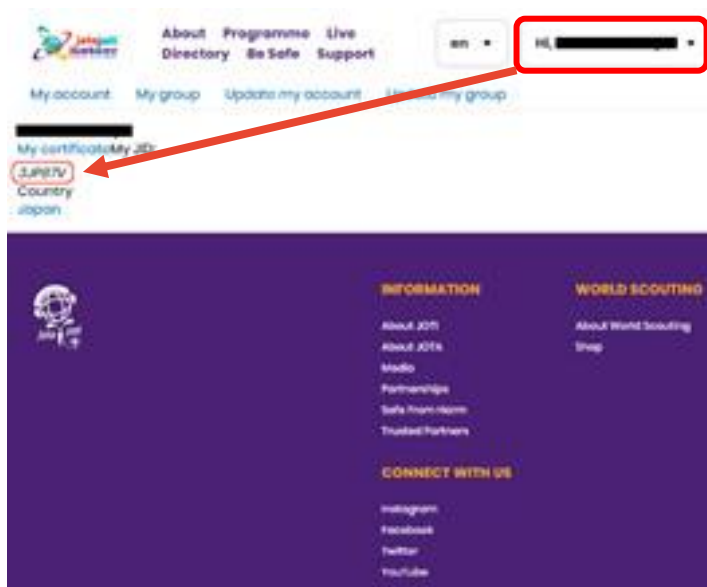


<登録完了>

- ① このページが出てきたら、登録終了です。お疲れ様でした。
- ② 青いボタン「Done」を押す。
- ③ プロフィール画面の確認やプログラムページでのアクティビティの予約ができます。

⑤ JOTA-JOTI 公式サイトでのマイページを確認する

JOTA-JOTI 公式サイトにログインして情報を確認します。URL : jotajoti.info/user



<アカウントページ>

- ① 右上の名前が表示されているメニューをクリックし、「My account」を押す。
- ② 自身で登録した名前、グループは JID が表示されていることを確認できます。
- ③ リンク「Update my account」をクリックすると、登録した情報を修正できます。

JID とは Jamboree ID（ジャンボリー参加者識別コード）の略だと考えれば良いと思いますが、WOSM の JOTA-JOTI 公式サイトに登録すると、登録した人（グループ）ごとに自動的にこの ID（識別コード）が割り振られます。リアルの世界ジャンボリーで参加者に ID カードが発行されるのと同じです。

この JID（Jamboree ID）は、この公式サイトにログインすると My Account のページの JID コー

ド欄に自動的に発行された結果が表示されます。

公式サイトでは本番の2週間から1週間前の時期に、この JID を使って全世界共通で楽しむ一種のビンゴゲームである JamPuz のその年の用紙数種類がダウンロードできるようになりますので、必ず本番前に確認して JamPuz の用紙をダウンロードしておきましょう。

JID は数字とアルファベットを組み合わせた 6 桁のコードで、日本から登録した場合は、最初の 3 桁は共通で 3JP ▲▲▲という 6 桁になります。

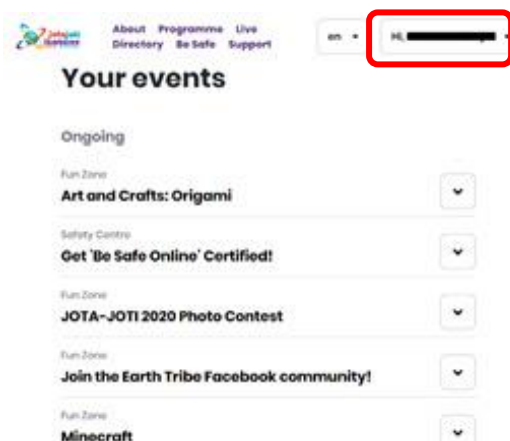
WOSM の中で世界を地域に分けていますが、最初の「3」は日本が所属しているアジア太平洋地域の共通コード「3」です。続いての「JP」は日本の国の略称コードで言わずと知れた Japan からの派生です。

残りの後半 3 桁は、最初の 2 桁が数字、最後の 1 桁がアルファベットになり、基本的に日本の中で同じコードが発行される人（グループ）がないように設定されます。



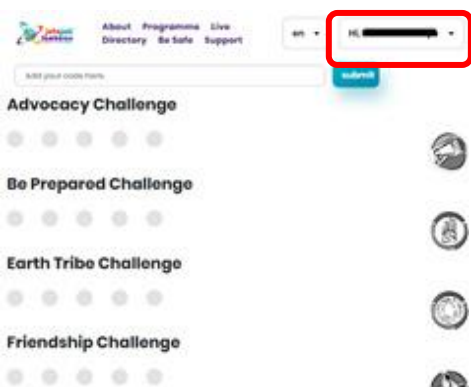
この時、注意が必要なのが、この JID は登録した人（グループ）の数だけ自動的に発行されますが、同じ場所・会場（＝拠点、例：公民館に集まり 3 台のパソコンで参加する）では、「どれか一つをその会場全体の JID コードとして使う」というルールがあります。つまり発行されるときには JID が重複しないように発行されますが、別グループで同じ JID コードを使用することがあります。

これはこの JID を使って世界中の参加スカウトが楽しむ JamPuz というゲームのための取り決めです。そのため、例えば同じ場所・会場から参加する 3 人(グループ)に 3 つのコードが発行されても、一番気に入ったものをその場所・会場（拠点）の JID として共通で使いましょう。もちろん、各自が自宅から別々に参加する場合には、それぞれに発行された別々の JID コードを使用します。



<プログラム予定確認ページ>

- ① 右上の名前が表示されているメニューをクリックし、「My Agenda」を押す。
- ② program ページで、Activities から参加希望ボタン「Join event」を押したプログラムの予定が表示されます。
- ③ プログラム詳細や開始時間を確認できます。



<獲得バッジ確認ページ>

- ① 右上の名前が表示されているメニューをクリックし、「My Challenge Valley」を押す。
- ② 10種類のプログラムが表示され、自分が参加した履修度合いが表示されます。
- ③ 参加した履修の度合いによって、取得したバッジを確認することができます。

① 日本連盟の JOTI 参加ページに登録する

日本連盟のウェブサイト内に開設される JOTA・JOTI 専用の登録ページに登録しておくことで、WOSM の公式サイトでの最新情報など英語表記でなかなかフォローし辛い内容が日本語で配信されます。この時に登録するメールアドレスは、JOTI 用に新たに作成したものではなく、日ごろ使用している通常のメールアドレスを登録しておくのが良いでしょう。そのほうが日本連盟からの情報配信の見落としがありません。

JOTA-JOTI 2022 ページ内のボタン「申し込みフォーム」をクリックして、Google フォームから参加申し込みをしてください。URL : [JOTA-JOTI 2022](#)

「JOTA-JOTI 2022 参加申込」ページ

- 「コールサイン 社団名 (JOTA)」は、空欄のまま構いません。
- 「SNS アカウント (JOTI)」は、Skype 名(live:○○)を入力してください。

② すべてを登録し終わったら情報を整理しておきましょう

さまざまサイトに登録しましたので、各サイトの登録情報を下記のような表で整理しておきましょう。

【作成例】 参加用 Google ID / 名前	姓:JapanScout 名:1stTokyo01 (ゼロ・ワン)
Google / ID (Mail Address)	japanscout.1st.tokyo01@gmail.com
Google / PW (10 桁以上・必ず大小文字混在)	1stTokyo01JapanScout
Microsoft / Skype ID (Google と同じにする)	japanscout.1st.tokyo01@gmail.com
Microsoft / Skype PW (Google と同じにする)	1stTokyo01JapanScout
Microsoft / Skype 登録姓名 (Google と同じ)	姓:JapanScout 名:1stTokyo01 (ゼロ・ワン)
Microsoft / Skype Skype 名 (自動割り当て)	live:.cid.70cfab00ae27f7ce
WOSM(SCOUT.ORG) / (Username 以外 Google と同じ)	Username: Japan Scout 1st Tokyo 01 (ゼロ・ワン)
JOTA-JOTI 公式サイト ID	E-mail: japanscout.1st.tokyo01@gmail.com
WOSM(SCOUT.ORG) / J-J 公式サイト PW	1stTokyo01JapanScout (WOSM は大小混在必須)
JID (自動割り当て)	3JP45A

参加用 Google ID ① / 名前	姓: 名:
Google① / ID (Mail Address)	
Google① / PW (10 桁以上・必ず大小文字混在)	
Microsoft / Skype ID① (Google と同じにする)	
Microsoft / Skype① PW (Google と同じにする)	
Microsoft / Skype 登録姓名① (Google と同じ)	姓: 名:
Microsoft / Skype Skype 名① (自動割り当て)	live:
WOSM(SCOUT.ORG) / (Username 以外 Google と同じ) JOTA-JOTI 公式サイト ID	Username: E-mail:
WOSM(SCOUT.ORG) / J-J 公式サイト PW	
JID① (自動割り当て)	

参加用 Google ID ② / 名前	姓: 名:
Google② / ID (Mail Address)	
Google② / PW (10 桁以上・必ず大小文字混在)	
Microsoft / Skype ID ② (Google と同じにする)	
Microsoft / Skype② PW (Google と同じにする)	
Microsoft / Skype 登録姓名② (Google と同じ)	姓: 名:
Microsoft / Skype Skype 名② (自動割り当て)	live:
WOSM(SCOUT.ORG) / (Username 以外 Google と同じ) JOTA-JOTI 公式サイト ID	Username: E-mail:
WOSM(SCOUT.ORG) / J-J 公式サイト PW	
JID② (自動割り当て)	

JOTI でビデオチャットを楽しむ方法は

さて、冒頭で場外プログラムとしてご紹介した JOTI の最大の醍醐味である海外のスカウトたちとライブかつお互いの映像を見ながら、Skype、Zoom、Google Meet、Microsoft Teams などのビデオ会議ソフトを利用して、直接海外のスカウトたちとビデオチャットを楽しむ方法です。ただし、WOSM が公式サイトで登録情報を共有し、支援しているビデオ会議ソフトは Skype になります。これまでの参加手順として Skype への登録を紹介した理由です。

これらの汎用アプリによるビデオチャットも正式な JOTI の活動として WOSM には認められており、また、早くから準備できるメリットがあります。

また、JOTI のサイトに頼らず汎用のビデオ会議アプリである Skype を使うメリットとして、交信した相手が同意してくれれば、その後 JOTI の時以外にもビデオチャットでお互い都合の合うときに

スカウト同士が交流できます。10月のJOTIでヨーロッパのスカウトグループと初めて出会い、年末近くのクリスマスや大晦日から新年にかけて同じグループと改めて交流するといった楽しみ方もできます。

こちらの方法の課題は、準備段階で海外のJOTIに参加する（しそうな）スカウトグループに接触を図り、自団・隊がJOTIに参加する日時に交信できそうな他国のスカウトを予め、ゆるやかに確保しておく必要があるという点です。

ただし、公式サイト仕様公開の時期に関わらず、十分に早い段階から準備できるため、以下に紹介するような「宣伝活動」自体を楽しんで展開していけば、自分たち自身で開拓した？交信相手と本番で顔を合わせる感動が味わえます。

JOTI 本番前の事前の宣伝活動

その大切な、本当に大切な！事前の宣伝活動ですが、その方法について解説します。

これまでのJOTIで効果があった宣伝方法として少なくとも4通りの方法があげられますが、どれか一つだけではなく「4つの全ての方法で、より広く、より多くの海外・国内のスカウトグループ」に自団・隊がJOTIに参加することをアピールします。4つの方法は以下のとおりです。各々の方法の詳細は後述します。

- ① Facebook で宣伝をする
- ② Skype で宣伝をする
- ③ E-mail で宣伝をする

宣伝準備

まず、何よりも先に、宣伝に使う画像を用意します。（「綺麗」と「可愛い」がキーポイント！）もちろん、Facebook、SkypeやE-mailによる宣伝では、全て文字だけでアピールすることも可能ですが、特にFacebookやSkypeのページの中でビジュアルが目立つことは大変効果があります。

目安は、JPEGフォーマット画像なら、縦800ピクセル×横1200ピクセルくらいの大きさが画質とファイルサイズのバランスが良くて適当です。Windowsパソコンなら標準アクセサリソフトのペイントなどで作りましょう。この画像に掲載すべきなのは、

- A) 「日本の国旗」と「JAPAN」の文字（幸い、日本は接続先として人気があります）
- B) 自団・自隊の名称
- C) JOTIに参加する日時（日本標準時JSTと世界標準時UTCを併記しましょう）
- D) 自団・自隊への接続のためのID

つまり、この画像だけでも宣伝として成り立つように、必要な情報を盛り込みます。

【例】



宣伝用画像の作例です



ポーランドのグループの宣伝実例

続いて、この画像と一緒に掲載するキャッチコピー・アピール文を作ります。なるべく3つの宣伝ルート（Facebook、Skype、E-mail）で共用できる文言を考えましょう。

また、宣伝「画像」に記載する内容と「文章」の内容であえて同じ内容も掲載することにも留意しましょう。

メールアドレスや Skype などのアカウント名などを、宣伝画像の内容と重複して文章の側にも記載する理由は、相手が「リンク先を文章からコピー＆ペーストできるようにするため」です。相手の（入力の）手間を省いておくほど、本番や事前に先方から接触してくれる可能性が高まります。

【例】

JOTI 2022. Hello, this is 1st Tokyo Scout Group in Japan.

We will be on the Skype on Saturday 15th Oct. Please have your contact with us for fun!

Please search us on the Skype with the following E-mails, both are available;

1st_tokyojapan_01@gmail.com

1st_tokyojapan_02@gmail.com

We also delightedly accept the Video chat from the personal account of your Scouts or Leaders who are at home.

この文章を入力あるいは作成する際には、入力する時にキーボードのモードを必ず「英数半角文字」で入力していることを確認してください。

よく送信エラーになる原因として「@ = 全角文字」と「@ = 半角英数文字」の打ち間違いがあります。

アルファベットは全角と半角が見た目でも明らかに違うので、誤って全角文字で入力していると気が付くのですが、このアットマークは見落としがちです。**上の例文中の@は全角文字ですので、有効なメールアドレスになっていません。ご注意ください！**

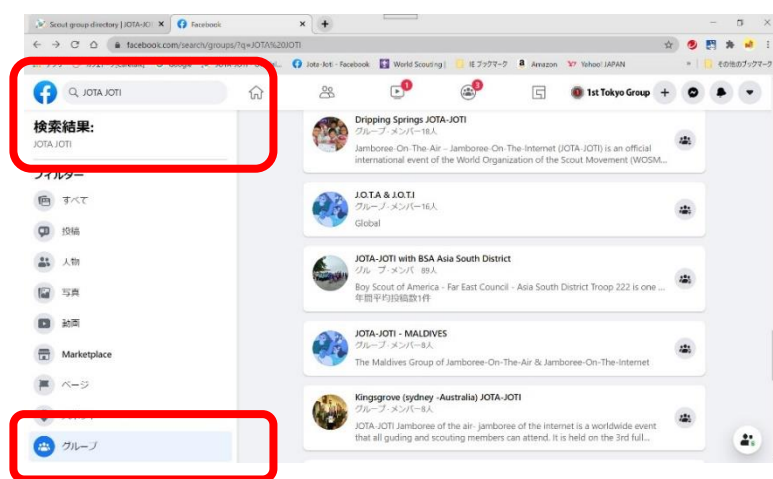
宣伝方法

Facebook で宣伝する

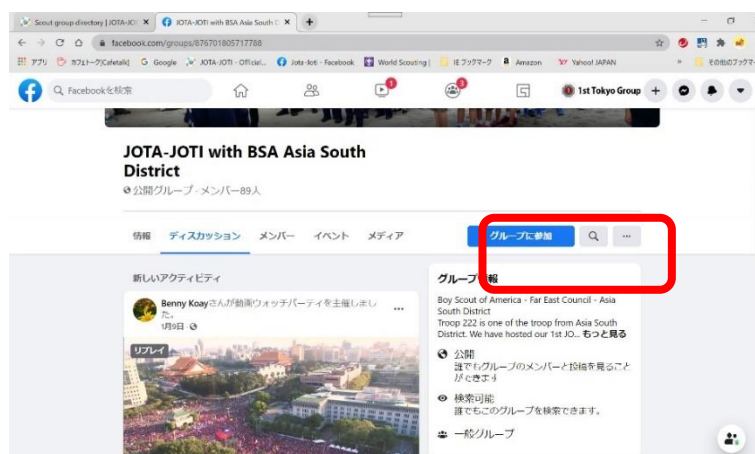
世界スカウト機構の JOTI 専用の Facebook ページで毎日の情報確認と、Facebook に投稿してくる海外のグループに対して、自分が取得した Skype アカウントを宣伝して JOTI 当日に交信してくれるように依頼します。Facebook のアカウントを持っていない場合は、ひとつだけ作りましょう。

<https://www.facebook.com/jota.joti.wosm/>

1. Facebook で宣伝するには、まず自分のアカウントでログインし、左上の 🔍（検索）の欄に「JOTA JOTI」と入力して検索をかけます。検索結果が表示されたら、左の「フィルター」の中から「グループ」を選びます。これで基本的には個人でなくグループを探せます。



2. 手ごろな人数（できれば右側の紹介欄でメンバーが 30 名以上）の新しいグループを選び、内容を確認します。ここでは、JOTA-JOTI with BSA Asia Scout District グループのリンクをたどったところ、直接には投稿できず、一旦「グループに参加」ボタンを押して、参加（=投稿）が許可されるまで待ちます。（現在も使われているページなら 2、3 日以内に返事があります。）



3. すぐに投稿できるページがないか探してみたところ、JOTA-JOTI 2020 のページにはいきなり宣伝を投稿できそうなので、「▼さん、その気持ち、シェアしよう」に投稿します。



4. ここで用意しておいた宣伝画像とアピール文を使って、当該グループの画面に派手に登場します。ただし、この直接投稿できるサイトにも2種類あって、投稿するとそのまま即時に反映されて表示されるサイトと、投稿は問題なくできてもページの管理者が内容を確認して承認してからしか表示されないサイトがあります。どちらかと言えばスカウト関連サイトは後者のケースが多いので、「投稿したのに表示されない！」と焦らないでください。いずれ表示されます。(この時、「日本のスカウトグループからの投稿」というのは幸い絶大な信用があります。)



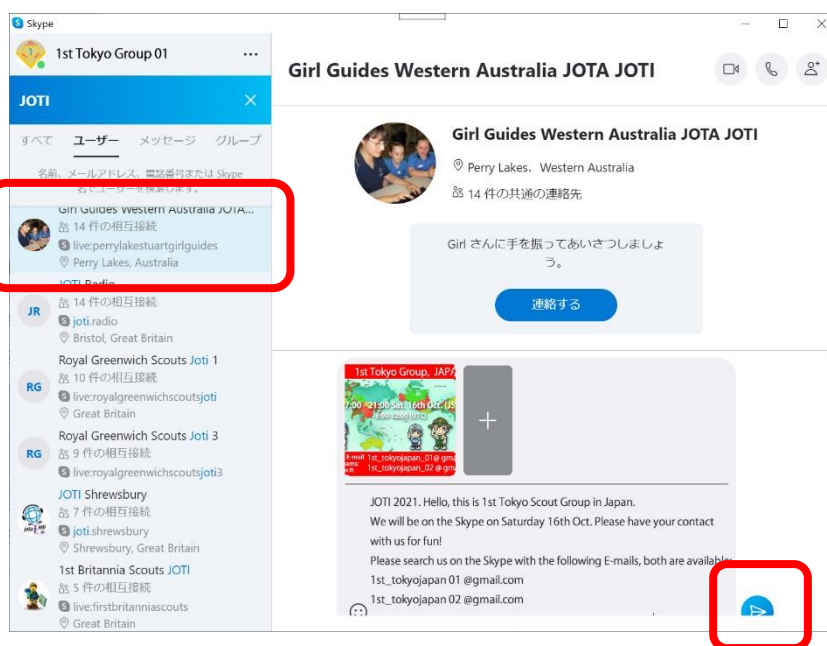
5. 応用編として、(1)で「Scout, Guide, Troop, Cub」などを入力して、海外の英語圏の団・隊のサイトを探し、JOTI がそのページで話題に上がっていれば同じように投稿します。
6. なお、この Facebook 投稿では、これまで作成した Skype アカウントを一括して宣伝できるので Facebook のアカウントはひとつあれば十分です。

Skype で宣伝する

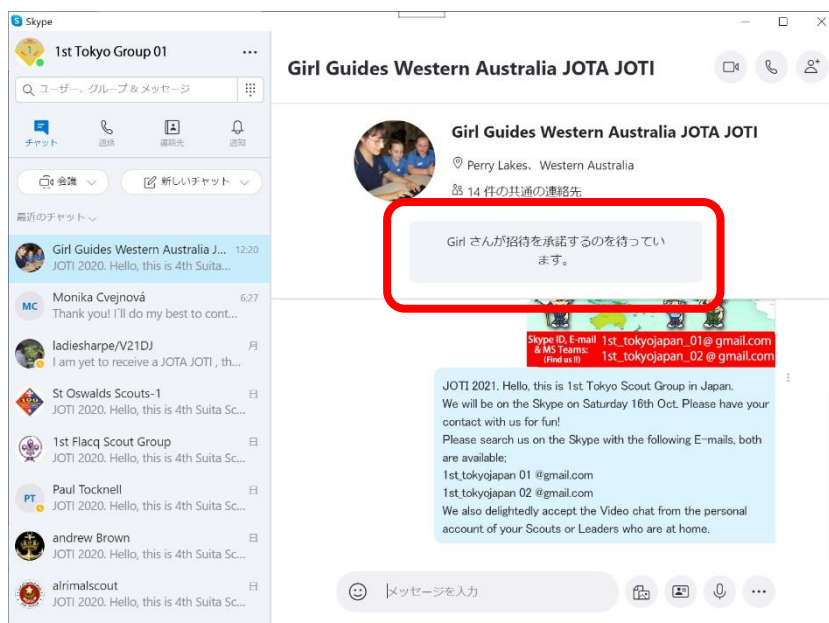
1. 自分の Skype アカウントで Skype にログインし、左上の「🔍ユーザー、グループ&メッセージ」欄に「JOTI」と入力して検索をかけます。そうすると JOTI 用にグループアカウントを登録しているらしき、海外のスカウトの Skype 名が左の欄に表示されます。一度に表示しきれない分は、一番下までスクロールして「その他」をクリックすると表示されます。



2. 交信相手になって欲しいと思うアカウントを左側から選び、右側の通信欄で直接宣伝画像とアピール文を送ります。



3. 送信後の画面は以下（「◇◇さんが招待を承諾すると待ちっています。」）のように変わりますが、相手が受け取っても良いと思えば、先方のボタンで「承諾」を押してくれて、こちらの Skype にも晴れて交信相手として「常時」表示されるようになります。（検索しなくても左欄の「チャット」や「連絡先」一覧に載るようになります。）



◆Skype の宣伝方法で注意すべき点（重要）

残念ながら、1.の検索結果に基づいて、その後の作業を終わると、検索結果画面には戻らず、完全に最初の画面に戻ってしまうので、毎回検索条件「JOTI」を入力して最初からやり直さなくてはなりません。根気の勝負！それとアピール文に必ず「日本のスカウトグループであること」を英文で入れて下さい。

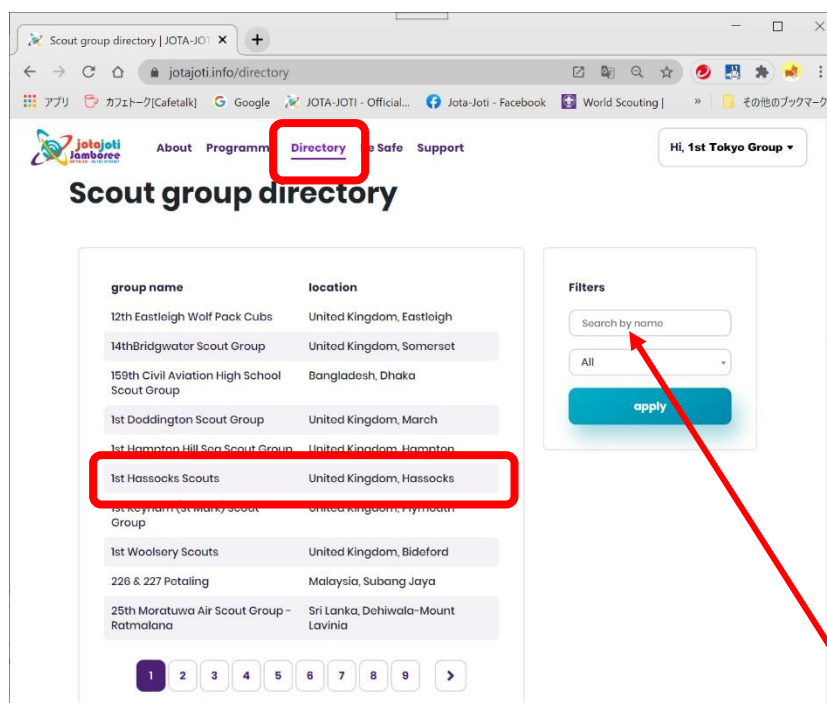
もう一つ、こちらがもっと大事で注意が必要なことですが、このやり方で次々と未知の相手に宣伝画像とアピール文を送るのは、1日に最大で20件程度にしてください。

といいますのは、SkypeはMicrosoft社の管理下にあります。この「元々承認されていない多数の相手に同じ内容のファイルと文言を送りつける」行為が、「スパムあるいはフィッシングなど不正な利用」と見なされて、場合によっては当該アカウントを停止されてしまいます。なので、根気の勝負とは書きましたが、日を分けて作業を繰り返して下さい。万一アカウントを停止された場合には、凍結の解除をMicrosoftに申請することができますが、基本的に英語でのやりとりになります。

なお、この方法の最初の(1)検索のところで、「JOTI」という一般名称ではなく、次の「E-Mailで宣伝する」で紹介するWOSMのJOTA-JOTI公式サイトの中のScout group directoryの「個別のスカウトグループ名あるはメールアドレス」を入れて検索する手もあります。（手間はかかりますが、「JOTIという文字が含まれていないが必ずスカウトグループであるSkype名」を探せます。）

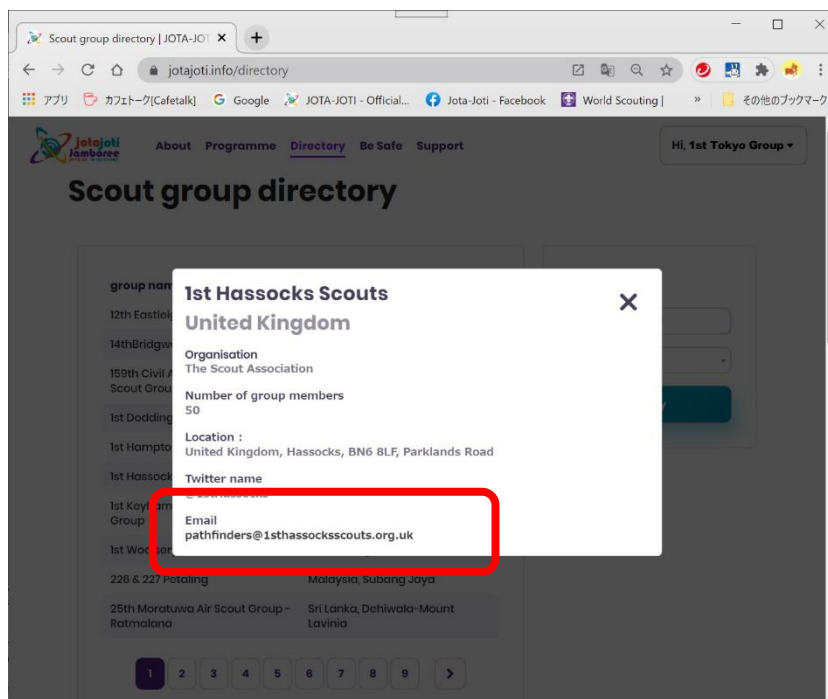
Email で宣伝する

1. WOSM の JOTA-JOTI 公式サイトに自分のアカウントで、ログインしたあと、画面の右上に「Hi! ◆◆」というプルダウンメニューが見えると思いますが、そこをクリックして「My account」のページへ飛び、「Update my account」「Update my group」の各欄を埋めておきます。赤い※の欄は必須扱いになっていると思います。加筆や修正が終わったらページの一番下の「save」で保存します。特に留意すべきなのは、「Update my group」の方のページの一番下に「Published (Make this group visible on groups directory.)」というチェックボックスがあり、ここにチェックを付けておくと、JOTI アカウント保持者同士で見ることのできる連絡先一覧 (Scout group directory) に自分のグループの情報が公開されます。ここでの公開も一種の宣伝になります。作成したアカウント全部で同じように必要項目を埋めます。
2. この一連の作業ができる「My account」の中に「Directory」という項目があり、そこをクリックすると前述の「Scout group directory」のページが開きます。この「group name」一覧の中から、「自分がコンタクトをとりたい国 location の適当なスカウトグループ」を選びその名前の部分をクリックします。



Filters に、希望する国名やグループ名を入力することで表示を絞り込むことができます。
※自分たちのグループの情報も詳しく掲載することで相手からも検索されやすくなります。

3. そうすると下図のような国名、所在地、参加予定人数、SNS アドレス、Skype ID、無線のコールサイン、メールアドレスなどの詳細が表示されますので、詳細欄の末尾にメールアドレスが記載されていれば、そのメールアドレスをコピー＆ペーストして、メールソフトで先のアピール文を本文として宣伝画像は添付書類とする、あるいは HTML 形式のメールで送るなら本文の中に宣伝画像を入れ込んで、先方に送ります。



4. 同じ要領で次々と group name の詳細を開けてみて、メールアドレスがあるグループには同じアピール内容を送ります。

この時には一からメールを打ち直す必要はなく、最初に発信したメールを選んで「転送」とし、宛先欄に新しい送り先をコピー＆ペーストし、件名の「FW:」の文字と、メール本文の中に「元メールのヘッダー」が残っているのを消して、次々と発信していきます。

なお、送った先の Group name は別途手書きでも手元に控えておきましょう。メールソフトの方には送ったアドレスしか残りませんので、毎日海外スカウトからの Directory 登録が増えていくのに合わせて次々と追加発信する場合、送信先のアドレス記録だけだとどこに送ったのか分からなくなります。

◆宣伝に注力する時期について

以上で、3通りの宣伝方法の概説としますが、この宣伝を始めるのは10月1日あたりからが一番良いと思います。

過去の例でも、やはり当月に入ったあたりから、海外のスカウトグループも徐々にJOTA-JOTI公式サイトに自団・隊の参加登録をしたり、その年用の新しいSkypeアカウントを取得、公開したりして情報が一斉に更新されるからです。

なお、事前に交信を約束できるような場合でも、お互いが1対1の通信でかつSkypeの場合には、可能な限り「きっちりした時刻を約束しない」で1時間くらいの幅を持たせるようにしましょう。

形としては「何月何日の何時から何時までの間（間隔1時間）にお互いつないでみましょう。」といった約束です。これは、日本あるいは相手国のいずれかが他の相手と話している途中だと、約束の時刻が来たからといって交信中の現在の相手との通話を切ることは難しいからです。

Skypeの場合には、アプリの設定でお互いがログインしているかどうか、現在通話可能な状態（空いている）かどうかを表示させることができますので、それを参考にしながら設定した1時間の時間帯の中でタイミングを見てどちらかから呼び出しをかけます。

特定の時刻で約束してしまった場合には、10分前くらいには他からの交信要請なども一切応答を控えて、約束の相手とつなげることを考えなくてはなりません。但し、その場合でも海外のスカウトが同じように律儀に対応してくれる保証はありません。

一方で、複数拠点（複数国）から同時にSkypeやZoomの会議システムで集まって会おうという約束をした場合には、時差も勘案したはっきりした時刻を確認しておき、その時刻が近づいたら、他の国のスカウトと話していても一旦終了させてもらって約束のSkypeあるいはZoomの会議アカウントに接続するようにしましょう。こちらは約束時刻を厳守しないと複数拠点からの同時接続はなかなか成立しにくいという事情があります。

以上の内容は当日の運営にも関わる事項ですが、事前の約束の時点で当日にこういう状況になることを想定して、可能であれば事前に海外のスカウトたちと約束を取り付けていきましょう。




JOTIの機材について

インターネット環境はあるものとして説明しますが、公民館などでインターネット環境がない場所から参加する場合には、レンタルの無線ルータを用意します。短期のレンタル（2泊3日など）ができるサービスも多数ありますので、ビデオチャットの送受信をスムーズにするため、「パソコン2台につき少なくともルータ1台」の割合で無線ルータを用意したいところです。

また、同じく共通項目として、必ず、しかもなるべく多くの数を用意したほうが良いのが「延長コード」です。もちろんパソコンや他の機器の使用台数にもよりますが、3mから5mくらいのものを皆で持ち寄ってなるべく多く用意しておきます。

理由は、使用する機器が全て電気を必要とするもので、4時間程度のイベント（直前のテスト時間を入れれば5時間程度）中にバッテリー切れを起こさないようにすべてAC電源から電力を供給するためです。

たとえば、部屋のレイアウトの関係でパソコンは部屋の中央付近に、無線ルータは外部との電波送受信状況が良い窓際に置くとすると、それだけで延長コードが2本必要になります。

<p>1. 最小構成</p>  <p>ノートパソコン</p>	<p>パソコン（Webカメラ・マイク内蔵型のノートPCなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> • これだけあれば、JOTIには参加できます。 • パソコン内蔵のカメラに映るのは2, 3人。パソコンの前に5～6人程度で前後に分かれて座り、交代しながら会話することが可能です。必要なら成人が横に座って操作します。
<p>2. 最小 +スピーカー</p>  <p>ノートパソコン スピーカー</p>	<p>パソコン（Webカメラ・マイク内蔵型ノートPCなど） +外付けスピーカー（相手の声を出力）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外付けスピーカーを付けることで、後ろの席からパソコン画面をのぞき込んでいる参加者にも相手の「声」は明瞭に聞こえるようになり、会話全体を聞き取れるようになります。
<p>3. あと一步</p>  <p>ノートパソコン スピーカー プロジェクターとスクリーン(or白壁)</p>	<p>パソコン（Webカメラ・マイク内蔵型ノートPCなど） ※ +外付けスピーカー+プロジェクター（相手の映像を映す）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 前後に分かれて最大10人程度が1台のパソコンを共用して交信します。必要なら成人が横に座って操作します。 • そのパソコンを使っている全員が、後ろに座っているメンバーも含めて交信相手の映像や音声を常に楽しむことができるようになり、自分が話す番を待つ間も退屈しません。

4. 満点



5. 超満点【満点+外部マイク】

(Web カメラはカメラ機能のみを使用 = カメラから離れた会話が可能になる)



【= 外部機器を単機能使用する】

- 相手の映像を出力：プロジェクター
- 相手の音声を出力：スピーカー
- 自分の映像を入力：Web カメラ
- 自分の音声を入力：マイクホン

(外部マイクとスピーカーの代わりにテレビ会議用のスピーカーホンも便利)



(資沢設備：顔ライトまで設置した例)

パソコン ※

+外付けスピーカー+プロジェクター+外付け Web カメラ
(マイク内蔵、こちら側の映像と音声用です)


パソコンと外付けスピーカーをつなぐ音声延長ケーブル、プロジェクターに接続するアナログ RGB か HDMI ケーブル、外付け Web カメラとつなぐ USB 延長ケーブルについて、いずれも最低でも 3m 以上のものを別途用意しましょう。


- これだけの機材が用意できると、パソコン本体は「交信をコントロールする役割のみを担う」ことになり、パソコンに内蔵されているカメラ、スピーカー、マイクの各機能は使いません。成人がパソコンの前に座って交信を管理します。
- 指導者や保護者がコントローラーとして使用するパソコンから、スカウトたちが使う Web カメラや送話用のマイク、相手の映像や音声を完全に切り離すことにより、パソコンの操作効率が格段に上がります。たとえば、一か所との通信が終わって、次の交信相手を探している間も、スカウトたちにそのまま自分の席で待機してもらえますようになります。
- 会場の広さやレイアウトにもよりますが、20 人程度までをそのパソコンに割り当てて、外付け Web カメラ(マイク)の前で前列、中列、後列の 3 列に座らせ、1 グループ 6, 7 人で交代しながら交信させることができます。
- プロジェクターの内蔵スピーカー性能にもよりますが、パソコンと HDMI ケーブルでつないでいても、外付けスピーカーは別に用意して相手の音声はそちらから出力しましょう。海外との会話で盛り上がっている賑やかな会場ではプロジェクターの内蔵スピーカーでは音量不足なことが多いからです。
- 大画面とスピーカーによって、現在会話に参加していないスカウトたちも全てリアルタイムでやりとりを見聞きできるようになり、手持無沙汰で退屈するスカウトを減らせます。
- また、無理なく数人で一斉に歌を歌ったり、ダンスを見せたりできるようになります。
- Web カメラを三脚の上などに取り付けておけば、回転させることで会場全体の様子を相手に紹介することもできます。

- ※ 最近の新しい公民館や市民センターなどの公共施設では、無料 WiFi 設備はなくても、プロジェクターやスピーカーを備えた視聴覚室があるケースも増えてきました。こういった会場が手近なところにある場合には、積極的にそういった設備を活用することを考えましょう。
- ※ 外付けの機材を用意する時、特にプロジェクターをはじめとする万全の体制を整えようとする場合には、事前に「使用するパソコンの入出力端子の種類と数」を確認して、どの端子を使ってどの外部機器を接続するか十分に検討してから外部機器との接続用のケーブルを用意する必要があります。
- ※ パソコン側の USB 端子も一般的なものだけで形状が 2 種類ありますし、映像は HDMI か RGB かなどを把握しておく必要があります。できれば確認したあと、図に描き起こして配線図を作成しておくのが良いでしょう。当日会場で図面を見ながら準備を進めます。
- ※ たとえばパソコン側に HDMI 端子と RGB 端子があれば相手の映像はあえて音声は転送されない RGB 端子で出力して、相手の音声は音声入出力端子から外部スピーカーに出力、こちらの映像と音声は外付けの Web カメラ（マイク内蔵）を USB 端子につないで入力するなどといった割り当てです。
- ※ 「満点」の例に挙げたようなフル装備の体制を組む場合、通常のノートパソコンに用意されている音声入出力端子、USB 端子、HDMI 端子などの端子は操作用のマウスもつないで使うことを考えると、ほとんどが塞がるか、組み合わせを間違えると足りなくなります。
- ※ すでに手持ちの外付け機器がある場合には、その接続端子とパソコン側で割り当てられる端子の種類や数を調べて、必要があれば端子変換ケーブルなどを購入して割り当てを変更します。

JOTI 当日に使用するその他の準備物

せっかく海外のスカウトと直接交流できる機会なので、「海外のスカウト」に興味を持ってもらえるような小道具をなるべくたくさん用意できればお互いより楽しく交流できるイベントになります。

<p>延長コードと養生テープ</p>	<p>先に説明したとおり、広い会場ではパソコンをはじめとする電気を使用する機器を多数使用することも想定されますので、そういった機器へ無理なく電源を供給するための延長コードは必須です。</p> <p>また、機器の配置では子供たちが配線をまたぐことのないような配置が望ましいですが、必要に応じて養生テープでカバーします。</p>
<p>JID コードの清書</p> 	<p>JOTI (JOTA) に参加登録すると発行される JID (Jamboree ID : 6桁の数字とアルファベットの組み合わせ、日本の場合は 3JP***で前3桁は同じ、***の後ろ3桁は個別に発行されたものになります) を A4 サイズの画用紙に大きく太マジックで清書したものをパソコンの台数分を用意します。</p> <p>交信相手から JID を聞かれたら、言葉で答えるとともにこの紙をカメラに映して見せると確実に伝えることができます。</p>

<p>Jam Puz 用紙</p> 	<p>世界中のスカウトが JID を交換しながら一種のビンゴゲームである JamPuz のマス目を埋めることに挑戦します。多くの国や拠点と交信すればするほど、JamPuz 用紙の全てのマス目が埋まる可能性が高まります。このゲームには何も賞品が用意されていませんが、あとで多くのマス目が埋まった JamPuz 用紙で見ることで、世界中のスカウトと交流できたという実感を持てるのと同時に、一種の交信記録としても残しておくことができます。</p>
<p>世界地図・日本地図</p>	<p>100 円ショップのもので十分です。6～10 人に 1 枚程度。交信できた国の確認に使用します。1 枚は壁に貼っておいて、交信できた国に旗を立てていくなど、アクションを加えるのがおすすめ。また、大西洋が真ん中にある外国製の地図が入手できるとスカウトたちには目新しく、なぜ日本が「極東の国 (Far East)」なのか説明できたりします。</p>
<p>地球儀</p>	<p>あると世界の時差や距離感を実感できます。安いものでは小さなビーチボールタイプのものもあります。国名さえ確認できれば十分。</p>
<p>電子辞書(スマホアプリも可)</p>	<p>和英・英和辞典。言葉を探したり、訳すための道具です。必須。</p>
<p>世界図鑑</p>	<p>子供向けのもので交信相手の国のことを調べられるものが良いと思います。予め学校の図書室などで借りられればベスト。</p>
<p>小さなホワイトボードとマーカー</p>	<p>100 円ショップのもので十分。もしくは、太いマジックと画用紙のスケッチブック (これも 100 円ショップのもので大丈夫)。カメラを通じた筆談用です。細いサインペンではカメラに映しても相手が見えない、もしくは読みにくいので避けるようにします。</p>
<p>スカウトの名前</p>	<p>太いマジックで A4 サイズの画用紙に自分の下の名前をローマ字書きしたもの (カメラ越しで読めるように細いサインペンでは書かないようにしましょう)。</p>
<p>被り物・コスチューム</p>	<p>日本のお面、ピカチュー、武将のお面など。その他、忍者コスチュームや普通の着物など日本伝統の衣装。</p>
<p>日本国旗 (団所有)</p>	<p>こちら側のカメラの画角に入るようにスカウトたちの後ろに日の丸が見える程度に傾けて立てておくと良いです。幸い日本の国旗は比較的広く知られており、日本が交信先として人気があることと相まって、通信がつながって先方の画面に日の丸が映った瞬間に「Japan! Japan!」と大騒ぎしてくれることもあります。</p>

JOTI の前の 1 週間の準備

JamPuz は一種のビンゴゲームで、JOTI の本番前 2 週間の頃になると JOTA-JOTI の公式サイトから用紙をダウンロードできるようになります。 URL : jotajoti.info

この用紙には複数種類あり、多くの国や拠点と交信することにより、ビンゴの紙を埋めていきます。WOSM からの賞品があるわけではありませんが、交信の記録にゲーム性を持たせることでより多くの海外のスカウトと交流しようというモチベーションにつながっています。

交信先が多くなればなるほど難しいビンゴ用紙を完成させられる可能性が高くなり、団単位で参加している海外のスカウトの中には、団の中で分かれた小グループで競っている団もあるようです。

ただし、そのゲーム性の弊害としては、海外のスカウトの中には（特にカブ、ボーイ年代あたり）ビンゴの完成に必要な JID 情報だけ交換して、交信を終わらせようとするスカウトもいますが、これは本来「ゲームを会話のきっかけにする」という主旨に反して、「ゲームの達成」だけに専念している悪い例です。WOSM も JamPuz の説明においてそういった姿勢についてはいさめています。



JOTI 参加の前日のテスト運用（金曜日、あるいは金曜日と土曜日など）

世界が JOTI 期間に入らないと稼働しないサイトがありますが、幸い時差があるのと、日本では土曜日あるいは日曜日に参加することが多いと思いますので、団の JOTI イベントの全体運営をする成人指導者あるいは保護者は、金曜日に JOTI 公式サイトプログラムの確認や、Skype の海外との実際の接続テストなど「できる限りの接続テストと試行錯誤」をしておきます。

もちろん日曜日が本番であれば、丸 2 日間ほどを様々な事前の確認作業にあてることができます。

実際には日本時間の金曜日午後あたりからは、世界中が JOTI の期間に入っていますので、すべての接続テストを実際に行い、成人指導者あるいは保護者が事前に練習することが可能です。

JOTI 当日の作業

本番予定時刻の 1 時間前には会場のセッティングを終了して、Skype の最終接続テストや JOTA-JOTI 公式サイトプログラムが正常に作動するかなどを確認しておきます。事前の宣伝段階で十分に広く世界中に自グループの接続先を告知できていれば、通常は本番として告知した時刻の前でもこちらが Skype にログインしているのを見つけて呼び出しが掛ります。

スカウトたちが到着していなくても本番テストとしてそれらの呼び出しに応答して交信し、映像や音声をテストするとともに「もう 1 時間してからもう一度呼んで欲しい。」とお願いしておくこともできます。

スカウトたちや保護者が到着したら、次のような説明と案内をして十分に理解してもらってから交信を始めましょう。

『まず初めに、実際の JOTI 参加後は、主に海外との接続、交信になるので、切れ目なく次々と新しい接続先と交信できる訳ではありません。事前になるべく多くの国・地域にわたしたちの Skype アカウントを宣伝してはありますが「待ち時間が発生する」ことをご承知おきください。

また、海外の JOTI に参加慣れしている国・地域・隊などは、数人か、あるいは一人でパソコンを操作しているため、日本側が大人数で画面に登場するとびっくりされるかもしれません。

さらに、この日本側の大人数について、ぜひご承知いただきたいのは、海外の JOTI に慣れたスカウトは、なるべく多くの国や拠点と交信するため、あるいは海外の指導者がそのような指導をしているため、1 か所あたり長くても 20 分以内で交信を終えたいと思っていることが多いです。

そのため、仮に日本側のスカウトが一度に 10 人ほどが交信に参加していて、全員が話し終わっていても、ある程度の時間が経ったらいったんその海外スカウトとは交信を切ってあげなくてはなりません。日本側の事情を先方に押し付けないようにしたいと思います。

これは団行事として限られたアカウント数で接続し、交信 1 回あたりの日本側の参加人数が多い場合に発生する日本特有の事情ですが、その海外スカウトと話せなかった日本側スカウトは、次の接続先と話すように誘導させていただきますのでご了解ください。

基本的には「日本側スカウト一人ひとりが一言ずつ」ではなく、「日本側はそのグループ全体で海外の交信相手と盛り上がる」という考え方で参加をお願いします。

また、1 台のパソコンに対しての日本側の参加人数が多いと、どうしても十分に参加できないスカウトも出てしまいますので、どのスカウトが前に出られていなかったかは各隊指導者のほうで把握していただいて、「このスカウトが参加できていないので、次の回はこのスカウトを前のほうの列に入れてあげて欲しい」と隊指導者側からの申告をお願いします。

過去参加した団からの情報では、海外の交信相手がベンチャー以上、特にローバースカウトや指導者などで、こちらがカブスカウトやビーバースカウトという、先方が成人に近い年代あるいは成人でこちらが年少部門という年齢的にアンバランスな組み合わせでは、意外と十分に相手をしてもらえたとのことでした。

海外のスカウトもその年代になると交信国数を伸ばすことにはあまり頓着せず、日本の年下のスカウトとつながったことを愉しんでくれて、時間を気にせずに相手をしてもらえるケースが多かったからとのことでした。

◆以下、オプション、団の状況に合わせて

当面は、団としてより多くのスカウト、指導者に JOTI を体験していただき、近い将来には、気軽に各隊あるいは各班の自前の参加アカウントと機材（Web カメラと Web マイク、パソコン）を持ち寄って、独自の交信先と次々と交信して皆が楽しく参加できるようになるのを目指したいと思っています。ただ、技術支援やプロジェクター利用の大画面での交信など、団として共同運営する場合のメリットも捨てがたいため、そのあたりのバランスもとりながら検討を進めたいと思っています。』

JOTI 当日に複数のビデオチャットアプリを切り替えて利用する場合の注意点

ビデオチャットの方法として、汎用テレビ会議アプリである Skype、Zoom、Google Meet、Microsoft Teams など多くの手段がありますが、これらを一つのパソコンの中で使い分けるときに注意しなくてはならないことがあります。

それは「パソコンの内蔵 Web カメラと内蔵マイクは、どれかひとつのソフトが占有してしまう。」ということです。つまり、Skype を起動してそれにカメラとマイクを割り当てておくと、そのままの状態では他のテレビ会議アプリの Zoom を同時に起動すると、割り当てを変更しない限り、Zoom のほうではカメラもマイクも生きていません。

カメラやマイクの割り当てを切り替えるための一番確かな方法は、カメラとマイクを使うアプリは一度にひとつだけ起動し、別のものを使うときには現在起動しているブラウザやアプリを完全に終了してから次のものを起動するという方法です。

最近のパソコンのシステムやブラウザは賢くなっていて、電源をシャットダウンするまでカメラとマイクの割り当て情報を覚えて離さず、リセットするためには電源を再起動しないと別のアプリを使うことができないケースもあります。このような場合は、結構なロスタイムが発生します。

JOTI 期間前に自分の Skype の連絡先（接続先）を宣伝し、予め他の参加者と情報交換することに慣れているベテラン JOTI 参加者が最初から最後まで Skype で通すのもこういった制約や障害があるからかもしれません。

JOTI 参加後の手続き

日本連盟の JOTI の公式ホームページで参加人数等の詳細を報告して、参加証を郵送してもらう手続きをします。（2020 年度からは参加証の用紙をダウンロードする形式に変更されました。）

参加証の受領には、返送される葉書の枚数（重さ）に応じて、必要額の切手を貼った返信用封筒と参加報告書を同封して、日本連盟の指定された窓口あてに封書で送ります。

過去の例では、おおよそ 3 週間以内に世界スカウト機構が発行した参加証（ハガキ大）が参加人数分届きますので、参加者に記念として配布します。

参加者名のところが空欄になっていますので、スカウトたちに渡す際には、本人の氏名を英語で表記して渡してあげるなどすると良い記念になると思います。